

大学番号 公立27

注3

設置年度 令和 2年度
計画の区分： 学部の設置
注1

届出

県立広島大学 地域創生学部

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

広島県公立大学法人
令和3年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 経営企画室

職名・氏名 シヨニン ハシモト オオキ
主任 橋本 直樹

電話番号 082-251-9727

（夜間） 082-251-5178

e-mail puh-saihen@pu-hiroshima.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

地域創生学部

＜地域創生学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
地域創生学科	2
地域文化コース・地域産業コース	5
健康科学コース	8
2. 授業科目の概要	11
地域文化コース	11
地域産業コース	25
健康科学コース	36
3. 施設・設備の整備状況、経費	47
4. 既設大学等の状況	48
5. 教員組織の状況	50
6. 附帯事項等に対する履行状況等	79
7. その他全般的事項	80
(添付資料：関係規程	84)

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

広島県公立大学法人

(2) 大学名

県立広島大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒734-8558

広島県広島市南区宇品東1丁目1番71号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ナカムラ ケンイチ) 中村 健一 (平成25年4月)	(ツチヤ サダユキ) 土屋 定之 (令和3年4月)	任期満了によりR3. 4. 1付で地方独立行政法人法第14条の規定により、法人が行う事務・事業に関して高度な知識・経験する者などの中から、知事が任命する。(3)
学長	(ナカムラ ケンイチ) 中村 健一 (平成25年4月)	(モリナガ ツトム) 森永 力 (令和3年4月)	任期満了によりR3. 2. 10第3回理事長選考会議にて選出(3)
学部長		(シゲヤス テツヤ) 重安 哲也 (令和3年4月) (タニモト ショウタ) 谷本 昌太 (令和2年4月)	届出時には学部長が未定であったが、学内規程によりR2. 3. 4役員会にて決定(2)学内規程により学長が選考し、理事長が任命(3)
学科長等		(シゲヤス テツヤ) 重安 哲也 (令和3年4月) (タニモト ショウタ) 谷本 昌太 (令和2年4月)	届出時には学部長が未定であったが、学内規程によりR2. 3. 4役員会にて決定(2)学内規程により学長が選考し、理事長が任命(3)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)

令和3年度に報告する内容 → (3)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
地域創生学部 地域創生学科 学士 (地域創生学)	文学関係 経済学関係 家政関係 理学関係	4年	200人	-	800人	新規入学者を募集中	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	200 (-) [10]	-	200 (-) [10]	-	-	-	-	-	-	-	1.06倍	-	
志願者数	573 (-) [37]	-	1102 (-) [53]	-	-	-	-	-	-	-			
受験者数	464 (-) [29]	-	766 (-) [39]	-	-	-	-	-	-	-			
合格者数	228 (-) [8]	-	226 (-) [10]	-	-	-	-	-	-	-			
B 入学者数	212 (-) [5]	-	214 (-) [6]	-	-	-	-	-	-	-			
入学定員超過率 B/A	1.06		1.07		-		-		-				

- (注) ・ 報告年度の()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、

報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。

- ・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「－」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	212 [5] (-)	- [-] (-)	214 [6] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
2年次	/		212 [5] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
3年次			/		/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)
4年次	/						/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)
計			212 [5] (-)	426 [11] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)			- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)

・令和3年5月1日 公表

(注) ・ 報告

- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
- ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
- ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
地域創生学部 地域創生学科 地域文化コース 地域産業コース 学士 (地域創生学)	文学関係 経済学関係	4年	165人 75人 90人	-	660人 300人 360人	新規入学者を募集中	地域創生学部の3コースはそれぞれに定員を設定しているが、うち地域文化コース及び地域産業コースについては、一般選抜(後期日程)において経過選択制を導入しているため、本シートにおいてまとめて報告する。

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	165 (-) [8]	-	165 (-) [8]	-	-	-	-	-	-	-	1.06倍	-	地域文化コース、地域産業コースについては一般選抜(後期日程)において経過選択制を導入しており、一括入試の後、2年次後期開始時にコース選択を行うため、2コースをまとめた数値を記載している。(2)(3)
志願者数	448 (-) [35]	-	1010 (-) [50]	-	-	-	-	-	-	-			
受験者数	373 (-) [29]	-	682 (-) [-]	-	-	-	-	-	-	-			
合格者数	189 (-) [8]	-	188 (-) [10]	-	-	-	-	-	-	-			
B 入学者数	175 (-) [5]	-	176 (-) [6]	-	-	-	-	-	-	-			
入学定員超過率 B/A	1.06		1.06		-		-		-				

- (注) ・ 報告年度の
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	175 [5] (-)	- [-] (-)	176 [6] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
2年次	/		175 [5] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
3年次			/		/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)
4年次	/						/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)
計			175 [5] (-)		351 [11] (-)				- [-] (-)		- [-] (-)

・令和3年5月1日 公表

(注) ・ 報告

- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
地域創生学部 地域創生学科 健康科学コース 学士 (地域創生学)	家政関係 理学関係	4年	35人	-	140人	新規入学者を募集中	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 35 (-) [2]	人 -	人 35 (-) [2]	人 -	人 -	人 -	人 -	人 -	人 -	人 -	1.06倍	-	
志願者数	125 (-) [2]	- (-) [-]	92 (-) [3]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]			
受験者数	91 (-) [-]	- (-) [-]	84 (-) [3]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]			
合格者数	39 (-) [-]	- (-) [-]	38 (-) [0]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]			
B 入学者数	37 (-) [-]	- (-) [-]	38 (-) [0]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]			
入学定員超過率 B/A	1.05		1.08		-		-		-				

- (注) ・ 報告年度の
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	37 [-] (-)	- [-] (-)	38 [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
2年次	/		37 [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
3年次			/		/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)
4年次	/						/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)
計			37 [-] (-)		75 [-] (-)				- [-] (-)		- [-] (-)

・令和3年5月1日 公表

(注) 報

- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入 該当がない年には「-」を記入
- ・ 編入学生や転入学生も含めて記入。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

<p>【教育効果向上の観点から、当該科目と教育課程における他科目の内容や履修の時期、クラスの編成人数等を再度考慮したことによる配当学年・学期の変更】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 全学共通教育科目「英語総合Ⅰ」は、「1①」→「1①②」へ変更。・ 全学共通教育科目「英語総合Ⅱ」は、「1②」→「1③④」へ変更。・ 全学共通教育科目「英語表現Ⅰ」は、「1③」→「1①②」へ変更。・ 全学共通教育科目「英語表現Ⅱ」は、「1④」→「1③④」へ変更。・ 全学共通教育科目「中国語Ⅰ」は、「1・2②」→「1・2①②」へ変更。・ 全学共通教育科目「中国語Ⅱ」は、「1・2③」→「1・2③④」へ変更。・ 全学共通教育科目「韓国語Ⅰ」は、「1・2②」→「1・2①②」へ変更。・ 全学共通教育科目「韓国語Ⅱ」は、「1・2③」→「1・2③④」へ変更。・ 全学共通教育科目「アカデミック日本語Ⅰ」は、「1・2②」→「1・2①」へ変更。・ 全学共通教育科目「スポーツ実技Ⅰ」は、「1③」→「1③④」へ変更。・ 全学共通教育科目「スポーツ実技Ⅱ」は、「2②」→「2③」へ変更。 <p>【教育効果向上の観点から、当該科目と教育課程における他科目の内容や履修の時期等を再度考慮したことによる配当学年・学期の変更】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 全学共通教育科目「経済学」は「1・2・3・4④」→「1・2・3・4①」へ変更。・ 全学共通教育科目「家族社会学」は「1・2・3・4①」→「1・2・3・4④」へ変更。・ 全学共通教育科目「日本国憲法」は、「1・2・3・4③」→「1・2・3・4②」へ変更。・ 全学共通教育科目「法学」は、「1・2・3・4②」→「1・2・3・4③」へ変更。 <p>【専任教員の退職・後任の補充/教育効果向上のための専任教員の新規採用・科目担当者の追加/その他やむを得ない事情による変更】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 全学共通教育科目「ICTリテラシーⅠ」「ICTリテラシーⅡ」は、「教授4 准教授2」→「教授3 准教授2 兼1」に変更する。科目の指導体制は教授3、准教授2、兼1（本学准教授）であり、教育上支障はない。・ 全学共通教育科目「英語総合Ⅰ」は教育内容の充実を図るため、「准教授1 兼7」→「兼3」に変更する。少人数体制でのクラス編成を行い、配当年次を2回設定することとしたため、教育上支障はない。・ 全学共通教育科目「英語総合Ⅱ」は教育内容の充実を図るため、「准教授1 兼7」→「教授2 兼2」に変更する。少人数体制でのクラス編成を行い、配当年次を2回設定することとしたため、教育上支障はない。・ 全学共通教育科目「英語表現Ⅰ」「英語表現Ⅱ」は教育内容の充実を図るため、「教授1 兼6」→「兼3」に変更する。少人数体制でのクラス編成を行い、配当年次を2回設定することとしたため、教育上支障はない。・ 全学共通教育科目「中国語Ⅰ」「中国語Ⅱ」は教育内容の充実を図るため、「兼3」→「兼2」に変更する。少人数体制でのクラス編成を行い、配当年次を2回設定することとしたため、教育上支障はない。・ 全学共通教育科目「文学」は、教育効果向上のための専任教員2名の科目担当者の追加、「教授1」→「教授3」・ 全学共通教育科目「歴史学」クラス数の減に伴い、准教授を1名減（「准教授2」→「准教授1」）に変更する。教育上支障はない。・ 全学共通教育科目「科学史」は教育効果向上の観点から、科目内容を精査し、オムニバス方式の授業に変更した。これに伴い、各回の内容に相応しい兼任教員9名の担当者を追加する。（「兼1」→「兼10」）・ 全学共通教育科目「いのちと科学」は、科目の指導・責任体制も含め、教育の質やその効果の向上の観点から、各担当教員の取扱領域を精査し、兼任4名減（「教授1 准教授1 兼4」→「教授1 准教授1」）なお、科目の指導・責任体制については、専任教員が引き継ぐため、教育上支障はない。・ 全学共通教育科目「生活に役立つ力学」は教育内容の充実を図るため、兼任教員を2名追加する。（「兼1」→「兼3」）・ 「文化継承入門Ⅰ」「文化継承入門Ⅱ」は、急遽、准教授1名の退職（他大学への移籍）したことに伴い、「教授5 准教授3 兼3」→「教授5 准教授2 兼1」に変更する。この授業は共同方式であり、授業内容、授業責任体制等は引き続き専任教員が担うため、教育上の支障はない。・ 「会計学概論」「簿記原理」「中級簿記」は、本学科の当該科目に適合する他の専任教員（講師）に変更する（「准教授1」→「講師1」）。教育上支障はない。・ 「中級韓国語総合」「上級韓国語総合」は、「教授1 准教授1」→「准教授1」に変更する。なお、科目の指導・責任体制については、専任教員が引き継ぐため、教育上支障はない。・ 「中級韓国語表現」「上級韓国語表現」は、「教授1 准教授1」→「教授1」に変更する。なお、科目の指導・責任体制については、専任教員が引き継ぐため、教育上支障はない。・ 全学共通教育科目「大学基礎セミナーⅠ」「大学基礎セミナーⅡ」「アカデミック・ライティング」「クリティカル・シンキング」「プレゼンテーション演習」「地域教養ゼミナールA」「地域教養ゼミナールB」は、准教授1名の教授への昇格と准教授・講師1名の新規採用、准教授1名の退職により、専任教員等の配置人数の変更を行う。（「教授33 准教授19 助教2」→「教授34 准教授18 講師1 助教2」）・ 「多文化共生入門Ⅰ」「多文化共生入門Ⅱ」は、准教授1名の教授への昇格により、専任教員等の配置人数の変更を行う。（「教授6 准教授4 兼1」→「教授7 准教授3」）・ 「多文化共生マネジメント」は、准教授1名の教授への昇格により、専任教員等の配置人数の変更を行う。（「准教授1」→「教授1」）・ 「卒業論文（専門演習Ⅰ）」「卒業論文（専門演習Ⅱ）」は、准教授1名の教授への昇格と准教授1名の退職により、「教授11 准教授7」→「教授12 准教授5」）・ 「地域協働演習」「地域課題解決研究Ⅰ」「地域課題解決研究Ⅱ」は、准教授1名の教授への昇格と准教授・講師1名の新規採用、准教授1名の退職により、「教授33 准教授19 助教2」→「教授34 准教授18 講師1 助教2」） <p>【教職課程認定申請時の文部科学省の指摘を受け行った、教育課程における科目の内容等の精査を踏まえた変更】</p> <p><科目名称の変更></p> <p>「日本地域史論（日本史）」「日本文化史論（日本文学史）」は文化継承コア・ユニットの軸となる科目として配置しており、文化継承を担う人材や国語科教員を目指す人材の育成において重要な科目であることから、授業内容に沿った名称とするため、それぞれ「日本地域史論」「日本文化史論」に名称を変更する。</p> <p><当該科目の科目区分間の移動></p> <p>（英語教員）</p> <ul style="list-style-type: none">・ 「英語文学論」「英語文化史論」「英国史論」「米国史論」は、「文化継承コア・ユニットⅠ」→「多文化共生コア・ユニットⅠ」へ変更。・ 「英語文学論研究」「米国史論研究」は、「文化継承コア・ユニットⅡ」→「多文化共生コア・ユニットⅡ」へ変更。 <p>（国語教員）</p> <ul style="list-style-type: none">・ 「日本語文化論（日本語学）」「日本語音声学」「中日対照言語学」は、「多文化共生コア・ユニットⅠ」→「文化継承コア・ユニットⅠ」へ変更。・ 「日本語文化論研究」は、「多文化共生コア・ユニットⅡ」→「文化継承コア・ユニットⅡ」へ変更。 <p><卒業要件及び履修方法の変更></p> <ul style="list-style-type: none">・ 英語教員・国語教員を育成するコア・ユニットの役割を明確にするため、卒業要件及び履修方法の変更を行う。・ 各コア・ユニットにおいて、特に重要な9科目「米国社会文化論」「英語文学論」「英語学」「英語コミュニケーション」「日本文学論（国文学）」「日本語表象論」「日本語文化論（日本語学）」「東アジア文学論（中国文学）」「書誌学」を選択科目から必修科目に変更する。・ 各コア・ユニットにおいて、重要な35科目「英国社会文化論」「英米文化史論」「英語表現論」「英語音声学」「メディア・イングリッシュ」「英国史論」「米国史論」「多文化共生社会と法」「多文化接触と言語」「英国社会文化論研究」「米国社会文化論研究」「英語文学論研究」「英語学研究」「英語表現論研究」「英文法」「検定英語演習」「ディベート・プレゼンテーション」「米国史論研究」「宮島学」「日本地域史論」「日本文化史論」「日本文化論」「日本語音声学」「中日対照言語学」「日中比較文学論」「書道・書写」「宮島フィールドワーク」「日本地域史論研究」「日本文化史論研究」「日本文化論研究」「日本文学論研究」「日本語表象論研究」「日本語文化論研究」「東アジア文学論研究」を選択科目から選択必修科目に変更する。 <p>【教育効果の向上のため、教育課程における科目の内容等の精査を踏まえた、当該科目の科目区分間の移動】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 「日本語教授法」は、「多文化共生コア・ユニットⅠ」→「多文化共生コア・ユニットⅡ」へ移動。

【令和3年度】

【教育効果向上の観点から、当該科目と教育課程における他科目の内容や履修の時期、クラスの編成人数等を再度考慮したことによる配当学年・学期の変更】

- ・ 全学共通教育科目「英語総合Ⅲ」は、「2③」→「2①②」へ変更。
- ・ 全学共通教育科目「英語総合Ⅳ」は、「2④」→「2③④」へ変更。
- ・ 全学共通教育科目「英語表現Ⅲ」は、「2①」→「2①②」へ変更。
- ・ 全学共通教育科目「英語表現Ⅳ」は、「2②」→「2③④」へ変更。

【教育効果向上の観点から、当該科目と教育課程における他科目の内容や履修の時期等を再度考慮したことによる配当学年・学期の変更】

- ・ 全学共通教育科目「地域情報発信論」は「2・3・4④」→「2・3・4②」へ変更。
- ・ 全学共通教育科目「地域教養ゼミナールA」は「3・4①③」→「2・3・4①③」へ変更。
- ・ 全学共通教育科目「地域教養ゼミナールB」は、「3・4②④」→「2・3・4②④」へ変更。
- ・ 全学共通教育科目「キャリアビジョン(デベロップメント)」は、「2・3・4①」→「2・3・4③」へ変更。
- ・ 全学共通教育科目「ボランティア」は、「2・3・4③」→「2・3・4②」へ変更。
- ・ 全学共通教育科目「インターシップ」は、「2・3・4④」→「2・3・4①②」へ変更。
- ・ 全学共通教育科目「多様性理解(ジェンダー論)」は、「2・3・4①」→「2・3・4③」へ変更。
- ・ 専門教育科目「経営管理論」は、「2①」→「2③」へ変更。
- ・ その他科目「教育学概論」は、「1③」→「1④」へ変更。
- ・ その他科目「教職入門」は、「1④」→「1③」へ変更。
- ・ その他科目「生徒・進路指導論」は、「2③」→「2④」へ変更。

【専任教員の退職・後任の補充/教育効果向上のための専任教員の新規採用・科目担当者の追加/その他やむを得ない事情による変更】

- ・ 全学共通教育科目「ICTリテラシーⅠ」は実施状況を鑑みて担当教員の見直しを行い、「(教授3 准教授2 兼1)→(教授2 准教授3 兼1)」に変更する。授業の質の低下と科目内容に変更がないよう教員を配置しており、教育上の支障はない。
- ・ 全学共通教育科目「ICTリテラシーⅡ」は実施状況を鑑みて担当教員の見直しを行い、「(教授3 准教授2 兼1)→(教授2 准教授2 兼1)」に変更する。授業の質の低下と科目内容に変更がないよう教員を配置しており、教育上の支障はない。
- ・ 全学共通教育科目「英語総合Ⅰ」は教育内容の充実と実施状況を鑑みて兼任教員1名を追加し、「(兼3)→(兼4)」に変更する。教育上支障はない。
- ・ 全学共通教育科目「英語総合Ⅱ」は担当する専任教授1名が定年退職したため、実施状況を鑑みて担当教員の見直しを行い「(教授2 兼2)→(教授1 兼3)」に変更する。授業の質の低下と科目内容に変更がないよう教員を配置しており教育上の支障はない。
- ・ 全学共通教育科目「英語総合Ⅲ」は科目内容を鑑みて、少人数体制でのクラス編成を行い、配当年次の学期(クォーター)を2回設定することとしたことから、「(教授2 兼6)→(兼3)」に変更する。教員一人当たりが担当する学生数に変更はなく、教育上支障はない。
- ・ 全学共通教育科目「英語総合Ⅳ」は科目内容を鑑みて、少人数体制でのクラス編成を行い、配当年次の学期(クォーター)を2回設定することとしたことから、「(教授2 兼6)→(准教授1 兼2)」に変更する。教員一人当たりが担当する学生数に変更はなく、教育上支障はない。
- ・ 全学共通教育科目「英語表現Ⅲ」は科目内容を鑑みて、少人数体制でのクラス編成を行い、配当年次の学期(クォーター)を2回設定することとしたことから、「(教授1 兼6)→(兼2)」に変更する。教員一人当たりが担当する学生数に変更はなく、教育上支障はない。
- ・ 全学共通教育科目「英語表現Ⅳ」は科目内容を鑑みて、少人数体制でのクラス編成を行い、配当年次の学期(クォーター)を2回設定することとしたことから、「(教授1 兼6)→(兼3)」に変更する。教員一人当たりが担当する学生数に変更はなく、教育上支障はない。
- ・ 全学共通教育科目「中国語Ⅰ」「中国語Ⅱ」は教育内容の充実と実施状況を鑑みて兼任教員1名を追加し、「(兼2)→(兼3)」に変更する。
- ・ 全学共通教育科目「韓国語Ⅰ」「韓国語Ⅱ」は教育内容の充実と実施状況を鑑みて兼任教員1名を追加し「(教授1 准教授1)→(教授1 准教授1 兼1)」に変更する。
- ・ 全学共通教育科目「科学史」は教育内容の充実と実施状況を鑑みて兼任教員1名を追加し、「(兼10)→(兼11)」に変更する。
- ・ 全学共通教育科目「生活に役立つ法学」は実施状況を鑑みて担当教員の見直しを行い、「(兼3)→(兼1)」に変更する。授業の質の低下と科目内容に変更がないよう教員を配置しており、教育上の支障はない。
- ・ 全学共通教育科目「大学基礎セミナーⅠ」「大学基礎セミナーⅡ」「アカデミック・ライティング」「クリティカル・シンキング」「プレゼンテーション演習」「地域教養ゼミナールA」「地域教養ゼミナールB」は、専任助教1名の専任准教授への昇任と准教授3名・助教2名の新規採用、教授3名の退職により、専任教員等の配置人数の変更を行う。「(教授34 准教授18 講師1 助教2)→(教授31 准教授22 講師1 助教4)」授業の質の低下と科目内容に変更がないよう引き続き全専任教員を配置しており、教育上の支障はない。
- ・ 全学共通教育科目「地域情報発信論」は教育内容を鑑みて兼任教員1名を追加し、「(准教授1 兼2)→(准教授1 兼3)」に変更する。
- ・ 全学共通教育科目「海外研修」は担当していた教授1名が退職したため、「(教授2 准教授1)→(教授1 准教授1)」に変更する。科目内容を鑑みて、適任の専任教員2名が担当し、教育の質を維持するため教育上支障はない。
- ・ 専門教育科目「多文化共生入門Ⅰ」「多文化共生入門Ⅱ」は、准教授2名の採用と教授1名の退職により、専任教員等の配置人数の変更を行う。「(教授7 准教授3)→(教授6 准教授5)」。
- ・ 専門教育科目「文化継承入門Ⅰ」「文化継承入門Ⅱ」は、准教授1名の採用により、専任教員等の配置人数の変更を行う。「(教授5 准教授2 兼1)→(教授5 准教授3 兼1)」担当する専任教員で連携しながら科目を実施するため、教育上支障はない。
- ・ 専門教育科目「生命科学」は、担当する教授1名の退職により、「(教授1)→(兼1)」に変更する。担当していた教授が、兼任教員として引き続き担当するため、科目内容に変更はなく、教育上支障はない。
- ・ 専門教育科目「英語学」「英語コミュニケーション」「英語学研究」「英文法」は、新規採用の准教授を担当とし、「(兼1)→(准教授1)」に変更する。
- ・ 専門教育科目「英語音声学」は、担当する教授1名の退職により、「(教授1)→(兼1)」に変更する。担当していた教授が、兼任教員として引き続き担当するため、科目内容に変更はなく、教育上支障はない。
- ・ 専門教育科目「中国語文化論」「中国語文化論研究」は、新規採用の准教授を担当とし、「(兼1)→(准教授1)」に変更する。
- ・ 専門教育科目「日本文化論」「書誌学」「日本文化論研究」は、新規採用の准教授を担当とし、「(准教授1)」に変更する。
- ・ 「卒業論文(専門演習Ⅰ)」「卒業論文(専門演習Ⅱ)」は、准教授3名の採用と教授1名の退職により、「(教授12 准教授5)→(教授11 准教授8)」に変更する。担当する専任教員で連携しながら科目を実施するため、教育上支障はない。
- ・ 「地域協働演習」「地域課題解決研究Ⅰ」「地域課題解決研究Ⅱ」は、准教授3名・助教2名の新規採用、教授3名の退職により、専任教員等の配置人数の変更を行う。「(教授34 准教授18 講師1 助教2)→(教授31 准教授22 講師1 助教4)」。担当する専任教員で連携しながら科目を実施するため、教育上支障はない。
- ・ 専門教育科目「上級英語総合(Seminar)」は科目内容を鑑みて担当教員の見直しを行い、「(教授1)→(准教授1)」に変更する。より専門に応じた担当教員の変更であり、教育上支障はない。
- ・ 専門教育科目「上級英語表現(Global CommunicationⅠ)」は実施状況を鑑みて担当教員の見直しを行い、「(准教授1)→(教授1)」に変更する。
- ・ 専門教育科目「上級英語表現(Global CommunicationⅡ)」は担当していた教授1名が退職したため、「(教授1)→(兼1)」に変更する。担当していた教授が、兼任教員として引き続き担当するため、科目内容に変更はなく、教育上支障はない。
- ・ 専門教育科目「中級中国語総合」は実施状況を鑑みて担当教員の見直しを行い、「(准教授1)→(教授1)」に変更する。
- ・ 専門教育科目「上級中国語表現」は科目内容を鑑みて新規採用の准教授を担当とし、「(教授1)→(准教授1)」に変更する。より専門に応じた担当教員の変更であり、教育上支障はない。
- ・ 専門教育科目「外国語検定(英語)Ⅰ(認定)」「外国語検定(英語)Ⅱ(認定)」「外国語検定(英語)Ⅲ(認定)」は、担当していた教授1名が定年退職したため、「(教授3 准教授1 兼1)→(教授2 准教授1 兼2)」に変更する。担当していた教授が、兼任教員として引き続き担当するため、科目内容に変更はなく、教育上支障はない。
- ・ その他科目「生徒・進路指導論」は科目内容を鑑みて、兼任教員1名を担当として追加し、「(兼1)→(兼2)」に変更する。

【令和4年度】

【令和5年度】

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
11 科目	202 科目	34 科目	247 科目	20 科目 [9]	193 科目 [Δ9]	32 科目 [Δ2]	245 科目 [Δ2]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	生徒指導論	2	2③	一般	自由	教職課程に必要な科目として開講を予定していたが、認定申請手続き中に不要な科目であることが判明し削除する。なお、削除後の教育課程で教職課程認定申請を行い、認定通知書を受領しており、教育上の問題はない。 (2)
2	児童英語教育論	2	3③	一般	自由	教職課程に必要な科目として開講を予定していたが、認定申請手続き中に不要な科目であることが判明し削除する。なお、削除後の教育課程で教職課程認定申請を行い、認定通知書を受領しており、教育上の問題はない。 (2)
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

廃止する科目は、教職課程に必要な科目として開講予定であったが、教職課程認定申請を進める中で必要ない科目だと判明し、教育上支障ないと判断したため、削除することとする。学生への周知については、授業の周知に使用する学生便覧へ記載しないこととし、誤って履修することを防止している。(2)

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{2}{247} = \boxed{0.8} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
					2	7	6					
					2	7	6					
					1	1						
					2	1						
					2	1						
					2	7	6					
					1	1						
					1	1						
					2							
		-	0	0	15	7	6	0	0	0		
		-	42	293	22	33	19	0	2	0		
卒業要件及び履修方法												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
					2	7	7					
					2	7	7					
					1	1						
					2	1						
					2	1						
					2	7	7					
					1	1						
					2							
		-	0	0	15	7	7	0	0	0		
		-	42	293	22	31	22	1	4	0		
卒業要件及び履修方法												

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
			1			34	18	1	2			
			1			34	18	1	2			
			1			3	2					
				1		3	2					
			1			2						
			1			2						
				1		2						
			1			1						
			1			1						
			1			1						
			1			1	1					
			1			1	1					
			1			1						
			1			1	1					
			1			1	1					
			2			1	1					
		-	8	16	0	34	18	1	2	0		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
			2			1					
			2			1					
			2				1				
			2				1				
			2				1		1		
			2			1					
			2			1					
			2					1			
			2				1				
			2				1				
			2					1			
			2				1				
			2						1		
			2				1				
			2				1				
			2					1			
			2				1				
			2						1		
			2				1				
	20	-	0	40	0	7	3	1	0	0	
			2				1				
			2				1				
			2				1				
			2			2					
			1					1			
			2				1				
			2				1				
			2				1				
			2				1				
			2				1				
			2				1				
			2				1				
			2				1				
			2				1				
			2				1				
			2				1				
			1				1				
			2				1				
			2				1				
			1				1				
			2				1				
			2				1				
			2				1				
			1				1				
			2				1				
			2				1				
			2				1				
			1				1				
			2				1				
			2				1				
			2				1				
			1				1				
		-	20	23	0	7	7	0	0	0	
			2			34	18	1	2		
		-	0	2	0	34	18	1	2	0	
			4			34	18	1	2		
			4			34	18	1	2		
			4			6	3	1			
			4			6	3	1			
			4			7	7				
			4			7	7				
			4			7	7				
		-	0	24	0	34	18	1	2	0	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
			2			1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
					2	7	7					
					2	7	7					
					1	1						
					2	1						
					2	1						
					2	7	7					
					1	1						
					1	1						
					2							
		-	0	0	15	7	7	0	0	0		
		-	42	293	22	34	18	1	2	0		
卒業要件及び履修方法												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	

- (注) ・ 報告年度の
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

<p>【教育効果向上の観点から、当該科目と教育課程における他科目の内容や履修の時期、クラスの編成人数等を再度考慮したことによる配当学年・学期の変更】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 全学共通教育科目「英語総合Ⅰ」は、「1①」→「1①②」へ変更。・ 全学共通教育科目「英語総合Ⅱ」は、「1②」→「1③④」へ変更。・ 全学共通教育科目「英語表現Ⅰ」は、「1③」→「1①②」へ変更。・ 全学共通教育科目「英語表現Ⅱ」は、「1④」→「1③④」へ変更。・ 全学共通教育科目「中国語Ⅰ」は、「1・2②」→「1・2①②」へ変更。・ 全学共通教育科目「中国語Ⅱ」は、「1・2③」→「1・2③④」へ変更。・ 全学共通教育科目「韓国語Ⅰ」は、「1・2②」→「1・2①②」へ変更。・ 全学共通教育科目「韓国語Ⅱ」は、「1・2③」→「1・2③④」へ変更。・ 全学共通教育科目「アカデミック日本語Ⅰ」は、「1・2②」→「1・2①」へ変更。・ 全学共通教育科目「スポーツ実技Ⅰ」は、「1③」→「1③④」へ変更。・ 全学共通教育科目「スポーツ実技Ⅱ」は、「2②」→「2③」へ変更。 <p>【教育効果向上の観点から、当該科目と教育課程における他科目の内容や履修の時期等を再度考慮したことによる配当学年・学期の変更】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 全学共通教育科目「経済学」は「1・2・3・4④」→「1・2・3・4①」へ変更。・ 全学共通教育科目「家族社会学」は「1・2・3・4①」→「1・2・3・4④」へ変更。・ 全学共通教育科目「日本国憲法」は、「1・2・3・4③」→「1・2・3・4②」へ変更。・ 全学共通教育科目「法学」は、「1・2・3・4②」→「1・2・3・4③」へ変更。 <p>【専任教員の退職・後任の補充/教育効果向上のための専任教員の新規採用・科目担当者の追加/その他やむを得ない事情による変更】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 全学共通教育科目「ICTリテラシーⅠ」「ICTリテラシーⅡ」は、「(教授4 准教授2)→(教授3 准教授2 兼1)」に変更する。科目の指導体制は教授3、准教授2、兼1(本学准教授)であり、教育上支障はない。・ 全学共通教育科目「英語総合Ⅰ」は教育内容の充実を図るため、「(准教授1 兼7)→(兼3)」に変更する。少人数体制でのクラス編成を行い、配当年次を2回設定することとしたため、教育上支障はない。・ 全学共通教育科目「英語総合Ⅱ」は教育内容の充実を図るため、「(准教授1 兼7)→(教授2 兼2)」に変更する。少人数体制でのクラス編成を行い、配当年次を2回設定することとしたため、教育上支障はない。・ 全学共通教育科目「英語表現Ⅰ」「英語表現Ⅱ」は教育内容の充実を図るため、「(教授1 兼6)→(兼3)」に変更する。少人数体制でのクラス編成を行い、配当年次を2回設定することとしたため、教育上支障はない。・ 全学共通教育科目「中国語Ⅰ」「中国語Ⅱ」は教育内容の充実を図るため、「(兼3)→(兼2)」に変更する。少人数体制でのクラス編成を行い、配当年次を2回設定することとしたため、教育上支障はない。・ 全学共通教育科目「文学」は、教育効果向上のための専任教員2名の科目担当者の追加、「(教授1)→(教授3)」・ 全学共通教育科目「歴史学」は、歴史学クラス数の減に伴い、准教授を1名減、「(准教授2)→(准教授1)」に変更する。教育上支障はない。・ 全学共通教育科目「科学史」は教育効果向上の観点から、科目内容を精査し、オムニバス方式の授業に変更した。これに伴い、各回の内容に相応しい兼任教員9名の担当者を追加する。「(兼1)→(兼10)」・ 全学共通教育科目「いのちと科学」は、科目の指導・責任体制も含め、教育の質やその効果の向上の観点から、各担当教員の取扱領域を精査し、兼任4名減(「教授1 准教授1 兼4」→「教授1 准教授1」) なお、科目の指導・責任体制については、専任教員が引き継ぐため、教育上支障はない。・ 全学共通教育科目「生活に役立つ力学」は教育内容の充実を図るため、兼任教員を2名追加する。「(兼1)→(兼3)」・ 「文化継承入門Ⅰ」「文化継承入門Ⅱ」は、急遽、准教授1名の退職(他大学への移籍)したことに伴い、「(教授5 准教授3 兼3)→(教授5 准教授2 兼1)」に変更する。この授業は共同方式であり、授業内容、授業責任体制等は引き続き専任教員が担うため、教育上の支障はない。・ 「会計学概論」「簿記原理」「中級簿記」は、本学科の当該科目に適合する他の専任教員(講師)に変更する(「准教授1」→「講師1」)。なお、教育上支障はない。・ 「地域産業特別講義」は、「(教授5)→(教授4)」に変更する。この授業は共同方式であり、授業内容、授業責任体制等は引き続き専任教員が担うため、教育上の支障はない。・ 「地域金融特別講義」は、「(教授1 准教授3)→(教授2 准教授1)」に変更する。この授業は共同方式であり、授業内容、授業責任体制等は引き続き専任教員が担うため、教育上の支障はない。・ 「税務会計論」は、新規採用の講師1名を追加する。「(准教授2)→(准教授2 講師1)」。・ 「知的財産権関連講座」は、専任の教授1名を追加する。「(兼1)→(教授1 兼1)」。・ 「データ構造とアルゴリズム」「データマイニング」は、本学科の当該科目に適合する他の専任教員(准教授)に変更する(「兼1」→「准教授1」)。なお、教育上支障はない。・ 「IoT・AI応用技術」は、本学科の当該科目に適合する専任教員(准教授)を追加する(「教授7 准教授6」→「教授7 准教授7」)。なお、教育上支障はない。・ 全学共通教育科目「大学基礎セミナーⅠ」「大学基礎セミナーⅡ」「アカデミック・ライティング」「クリティカル・シンキング」「プレゼンテーション演習」「地域教養ゼミナールA」「地域教養ゼミナールB」は、准教授1名の教授への昇格と准教授・講師1名の新規採用、准教授1名の退職により、専任教員等の配置人数の変更を行う。「(教授33 准教授19 助教2)→(教授34 准教授18 講師1 助教2)」。・ 「多文化共生入門Ⅰ」「多文化共生入門Ⅱ」は、准教授1名の教授への昇格により、専任教員等の配置人数の変更を行う。「(教授6 准教授4 兼1)→(教授7 准教授3)」。・ 「地域協働演習」「地域課題解決研究Ⅰ」「地域課題解決研究Ⅱ」は、准教授1名の教授への昇格と准教授・講師1名の新規採用、准教授1名の退職により、「(教授33 准教授19 助教2)→(教授34 准教授18 講師1 助教2)」。・ 「経営学専門演習Ⅰ」「経営学専門演習Ⅱ」は、講師1名の新規採用により、「(教授6 准教授3)→(教授6 准教授3 講師1)」に変更する。・ 「応用情報システム専門演習Ⅰ」「応用情報システム専門演習Ⅱ」は、准教授1名の新規採用により、「(教授7 准教授6)→(教授7 准教授7)」に変更する。・ 「IoTシステム開発プロジェクト演習」「AIシステム開発プロジェクト演習」「IoT・AI特別講義」は、本学科の当該科目に適合する専任教員(准教授)を追加する(「教授7 准教授6」→「教授7 准教授7」)。なお、教育上支障はない。 <p>【教育効果の向上のため、教育課程における科目の内容等の精査を踏まえた、当該科目の科目区分間の移動】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 「地域産業特別講義」「地域金融特別講義」は、「経営コア・ユニットⅡ」→「経営コア・ユニットⅠ」へ移動。・ 「システム開発論」は、「情報コア・ユニットⅡ」→「情報コア・ユニットⅠ」へ移動。・ 「音声情報処理」は、「情報コア・ユニットⅠ」→「情報コア・ユニットⅡ」へ移動。 <p>【卒業要件及び履修方法の変更】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 学生に対して、卒業要件及び履修方法をより明確に伝えるため、整理して具体的に記載した。
--

【令和3年度】

【教育効果向上の観点から、当該科目と教育課程における他科目の内容や履修の時期、クラスの編成人数を再度考慮したことによる配当学年・学期の変更】

- ・ 全学共通教育科目「英語総合Ⅲ」は、「2③」→「2①②」へ変更。
- ・ 全学共通教育科目「英語総合Ⅳ」は、「2④」→「2③④」へ変更。
- ・ 全学共通教育科目「英語表現Ⅲ」は、「2①」→「2①②」へ変更。
- ・ 全学共通教育科目「英語表現Ⅳ」は、「2②」→「2③④」へ変更。

【教育効果向上の観点から、当該科目と教育課程における他科目の内容や履修の時期等を再度考慮したことによる配当学年・学期の変更】

- ・ 全学共通教育科目「地域情報発信論」は「2・3・4④」→「2・3・4②」へ変更。
- ・ 全学共通教育科目「地域教養ゼミナールA」は「3・4①③」→「2・3・4①③」へ変更。
- ・ 全学共通教育科目「地域教養ゼミナールB」は、「3・4②④」→「2・3・4②④」へ変更。
- ・ 全学共通教育科目「キャリアビジョン（デベロップメント）」は、「2・3・4①」→「2・3・4③」へ変更。
- ・ 全学共通教育科目「ボランティア」は、「2・3・4③」→「2・3・4②」へ変更。
- ・ 全学共通教育科目「インターンシップ」は、「2・3・4④」→「2・3・4①②」へ変更。
- ・ 全学共通教育科目「多様性理解（ジェンダー論）」は、「2・3・4①」→「2・3・4③」へ変更。
- ・ 専門教育科目「経営管理論」は、「2①」→「2③」へ変更。

【専任教員の退職・後任の補充/教育効果向上のための専任教員の新規採用・科目担当者の追加/その他やむを得ない事情による変更】

- ・ 全学共通教育科目「ICTリテラシーⅠ」は実施状況を鑑みて担当教員の見直しを行い、「（教授3 准教授2 兼1）→（教授2 准教授3 兼1）」に変更する。授業の質の低下と科目内容に変更がないよう教員を配置しており、教育上の支障はない。
- ・ 全学共通教育科目「ICTリテラシーⅡ」は実施状況を鑑みて担当教員の見直しを行い、「（教授3 准教授2 兼1）→（教授2 准教授2 兼1）」に変更する。授業の質の低下と科目内容に変更がないよう教員を配置しており、教育上の支障はない。
- ・ 全学共通教育科目「英語総合Ⅰ」は教育内容の充実と実施状況を鑑みて兼任教員1名を追加し、「（兼3）→（兼4）」に変更する。教育上支障はない。
- ・ 全学共通教育科目「英語総合Ⅱ」は担当する専任教員1名が定年退職したため、実施状況を鑑みて担当教員の見直しを行い「（教授2 兼2）→（教授1 兼3）」に変更する。授業の質の低下と科目内容に変更がないよう教員を配置しており教育上の支障はない。
- ・ 全学共通教育科目「英語総合Ⅲ」は科目内容を鑑みて、少人数体制でのクラス編成を行い、配当年次の学期（クォーター）を2回設定することとしたことから、「（教授2 兼6）→（兼3）」に変更する。教員一人当たりが担当する学生数に変更はなく、教育上支障はない。
- ・ 全学共通教育科目「英語総合Ⅳ」は科目内容を鑑みて、少人数体制でのクラス編成を行い、配当年次の学期（クォーター）を2回設定することとしたことから、「（教授2 兼6）→（兼2）」に変更する。教員一人当たりが担当する学生数に変更はなく、教育上支障はない。
- ・ 全学共通教育科目「英語表現Ⅲ」は科目内容を鑑みて、少人数体制でのクラス編成を行い、配当年次の学期（クォーター）を2回設定することとしたことから、「（教授1 兼6）→（兼2）」に変更する。教員一人当たりが担当する学生数に変更はなく、教育上支障はない。
- ・ 全学共通教育科目「英語表現Ⅳ」は科目内容を鑑みて、少人数体制でのクラス編成を行い、配当年次の学期（クォーター）を2回設定することとしたことから、「（教授1 兼6）→（兼3）」に変更する。教員一人当たりが担当する学生数に変更はなく、教育上支障はない。
- ・ 全学共通教育科目「中国語Ⅰ」「中国語Ⅱ」は教育内容の充実と実施状況を鑑みて兼任教員1名を追加し、「（兼2）→（兼3）」に変更する。
- ・ 全学共通教育科目「韓国語Ⅰ」「韓国語Ⅱ」は教育内容の充実と実施状況を鑑みて兼任教員1名を追加し「（教授1 准教授1）→（教授1 准教授1 兼1）」に変更する。
- ・ 全学共通教育科目「科学史」は教育内容の充実と実施状況を鑑みて兼任教員1名を追加し、「（兼10）→（兼11）」に変更する。
- ・ 全学共通教育科目「生活に役立つ力学」は実施状況を鑑みて担当教員の見直しを行い、「（兼3）→（兼1）」に変更する。授業の質の低下と科目内容に変更がないよう教員を配置しており、教育上の支障はない。
- ・ 全学共通教育科目「大学基礎セミナーⅠ」「大学基礎セミナーⅡ」「アカデミック・ライティング」「クリティカル・シンキング」「プレゼンテーション演習」「地域教養ゼミナールA」「地域教養ゼミナールB」は、専任助教1名の専任准教授への昇任と准教授3名・助教2名の新規採用、教授3名の退職により、専任教員等の配置人数の変更を行う。（「教授34 准教授18 講師1 助教2」→「教授31 准教授22 講師1 助教4」）授業の質の低下と科目内容に変更がないよう引き続き全専任教員を配置しており、教育上の支障はない。
- ・ 全学共通教育科目「地域情報発信論」は教育内容を鑑みて兼任教員1名を追加し、「（准教授1 兼2）→（准教授1 兼3）」に変更する。
- ・ 全学共通教育科目「海外研修」は担当していた教授1名が退職したため、「（教授2 准教授1）→（教授1 准教授1）」に変更する。科目内容を鑑みて、適任の専任教員2名が担当し、教育の質を維持するため教育上支障はない。
- ・ 専門教育科目「多文化共生入門Ⅰ」「多文化共生入門Ⅱ」は、准教授2名の採用と教授1名の退職により、専任教員等の配置人数の変更を行う。（「教授7 准教授3」→「教授6 准教授5」）。担当する専任教員で連携しながら科目を実施するため、教育上支障はない。
- ・ 専門教育科目「文化継承入門Ⅰ」「文化継承入門Ⅱ」は、准教授1名の採用により、専任教員等の配置人数の変更を行う。（「教授5 准教授2」→「教授5 准教授3」）担当する専任教員で連携しながら科目を実施するため、教育上支障はない。
- ・ 専門教育科目「生命科学」は、担当する教授1名の退職により、「（教授1）→（兼1）」に変更する。担当していた教授が、兼任教員として引き続き担当するため、科目内容に変更はなく、教育上支障はない。
- ・ 専門教育科目「税務会計論」は、専任准教授1名が健康上の理由により担当することが困難となったため、「（准教授2 講師1）→（准教授1 講師1）」に変更する。准教授1名減となるが、授業の質の低下と科目内容に変更がないよう教員を配置しており、教育上の支障はない。
- ・ 「地域協働演習」「地域課題解決研究Ⅰ」「地域課題解決研究Ⅱ」は、専任助教1名の専任准教授への昇任と准教授3名・助教2名の新規採用、教授3名の退職により、専任教員等の配置人数の変更を行う。（「教授34 准教授18 講師1 助教2」→「教授31 准教授22 講師1 助教4」）。担当する専任教員で連携しながら科目を実施するため、教育上支障はない。
- ・ 「経営学専門演習Ⅰ」「経営学専門演習Ⅱ」は、専任准教授1名が健康上の理由により担当することが困難となったため、「（教授6 准教授3 講師1）→（教授6 准教授2 講師1）」に変更する。担当する専任教員で連携しながら科目を実施するため、教育上支障はない。

【令和4年度】

【令和4年度】

【令和5年度】

【令和5年度】

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡潔書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
28 科目	145 科目	16 科目	189 科目	28 科目 [0]	145 科目 [0]	16 科目 [0]	189 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{0}{189} = \boxed{} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
			2				1						
			2				1						
			1	2			1						
				1			1						
			2				1						
				2			1						
			1				1						
			2				1						
				1									
			2				1						
				2			1						
				1			1						
			2				1						
				2			1						
			1				1						
			2				1						
				2			1						
			1				1						
			2				1						
				2			1						
			1				1						
			2				1						
				2			1						
			1				1						
			2				1						
				2			1						
			1				1						
			2				1						
				2			1						
			1				1						
			2				1						
				2			1						
			1				1						
			2				1						
				2			1						
			1				1						
			2				1						
				2			1						
			1				1						
			2				1						
				2			1						
			1				1						
			2				1						
				2			1						
			1				1						
			2				1						
				2			1						
			1				1						
			2				1						
				2			1						
			1				1						
			2				1						
				2			1						
			1				1						
			2				1						
				2			1						
			1				1						
			2				1						
				2			1						
			1				1						
			2				1						
				2			1						
			1				1						
			2				1						
				2			1						
			1				1						
			2				1						
				2			1						
			1				1						
			2				1						
				2			1						
			1				1						
			2				1						
				2			1						
			1				1						
			2				1						
				2			1						
			1				1						
			2				1						
				2			1						
			1				1						
			2				1						
				2			1						
			1				1						
			2				1						
				2			1						
			1				1						
			2				1						
				2			1						
			1				1						
			2				1						
				2			1						
			1				1						
			2				1						
				2			1						
			1				1						
			2				1						
				2			1						
			1				1						
			2				1						
				2			1						
			1				1						
			2				1						
				2			1						
			1				1						
			2				1						
				2			1						
			1				1						
			2				1						
				2			1						
			1				1						
			2				1						
				2			1						
			1				1						
			2				1						
				2			1						
			1				1						
			2				1						
				2			1						
			1				1						
			2				1						
				2			1						
			1				1						
			2				1						
				2			1						
			1				1						
			2				1						
				2			1						
			1				1						
			2				1						
				2			1						
			1				1						
			2				1						
				2			1						
			1				1						
			2				1						
				2			1						
			1				1						
			2				1						
				2			1						
			1				1						
			2				1						
				2			1						
			1				1						
			2				1						
				2			1						
			1				1						
			2				1						
				2			1						
			1				1						
			2				1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
			2				1	1				
			2									
			2			1						
			2			1						
			2			1						
			2				1					
			2				1					
			2			1						
			2				1					
			2			1						
			2			1						
			2			1						
			1					1				
			1					1				
			1					1				
			2					1				
			2					1				
			-	0	70	0	21	9	1	0	0	
			2				1					
			2				1					
			1				1					
			2			1						
			2			1						
			1					1				
			2					1				
			2					1				
			2			1						
			1					1				
			2					1				
			2					1				
			1					1				
			2					1				
			2			1						
			2			1						
			1					1				
			2					1				
			2					1				
			-	16	15	0	4	2	0	0	0	
			2									
			1				1					
			2				1					
			1				1					
			2				1					
			1				1					
			2				1					
			2				1					
			2				1					
			2				1					
			1				1					
			2				1					
			2				1					
			1				1					
			1				1					
			1				1					
			-	20	7	0	4	0	0	0	0	
			2				1					
			2				1					
			1				1					
			1				1					
			2				1					
			2					1				
			2					1				
			2					1				
			1					1				
			1					1				
			1					1				
			1					1				
			1					1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
			1			1						
			1			1						
			2			1						
			1			1						
			1			1						
			2			1						
			2			1						
			1			1						
			1			1						
			1			1						
			1			3	1					
			1			3	1					
		-	18	20	0	4	1	0	0	0		
				2		34	18	1	2			
		-	36	42	0	34	18	1	2	0		
				4		9	3					
				4		9	3					
				4		34	18	1	2			
				4		34	18	1	2			
		-	0	16	0	34	18	1	2	0		
				2		1						
				2		1						
				2			1					
				2								
				2		1						
				2								
				2								
				2								
				2								
				2								
				2								
				2								
				2								
				2								
				2								
				1		3						
				1		1						
				2		1						
		-	0	0	31	5	0	0	0	0		
		-	81	242	38	34	18	1	2	0		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	

(注) ・ 報告年度の

- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- ・ 不要な年度（令和元年度開設であれば平成30年度）の表は適宜削除してください。
- （2つの表が1ページに表示されるようにしてください。）
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

- 【教育効果向上の観点から、当該科目と教育課程における他科目の内容や履修の時期、クラスの編成人数等を再度考慮したことによる配当学年・学期の変更】
- ・ 全学共通教育科目「英語総合Ⅰ」は、「1①」→「1①②」へ変更。
 - ・ 全学共通教育科目「英語総合Ⅱ」は、「1②」→「1③④」へ変更。
 - ・ 全学共通教育科目「英語表現Ⅰ」は、「1③」→「1①②」へ変更。
 - ・ 全学共通教育科目「英語表現Ⅱ」は、「1④」→「1③④」へ変更。
 - ・ 全学共通教育科目「中国語Ⅰ」は、「1・2②」→「1・2①②」へ変更。
 - ・ 全学共通教育科目「中国語Ⅱ」は、「1・2③」→「1・2③④」へ変更。
 - ・ 全学共通教育科目「韓国語Ⅰ」は、「1・2②」→「1・2①②」へ変更。
 - ・ 全学共通教育科目「韓国語Ⅱ」は、「1・2③」→「1・2③④」へ変更。
 - ・ 全学共通教育科目「アカデミック日本語Ⅰ」は、「1・2②」→「1・2①」へ変更。
 - ・ 全学共通教育科目「スポーツ実技Ⅰ」は、「1③」→「1③④」へ変更。
 - ・ 全学共通教育科目「スポーツ実技Ⅱ」は、「2②」→「2③」へ変更。
 - ・ 「生化学実験」「解剖学・病理学Ⅱ」「生理学」は、「1③」→「1④」へ変更。
 - ・ 「体力評価実習」は、「2③」→「2④」へ変更。
 - ・ 「スポーツ環境科学」は、「2③」→「2②」へ変更。
 - ・ 「分析化学」は、「1①」→「1②」へ変更。
 - ・ 「分析化学実験」は、「1②」→「1③」へ変更。
 - ・ 「食品学実験」「基礎栄養学」は、「1③」→「1④」へ変更。
 - ・ 「食品衛生学」「応用栄養学実習」「栄養教育論実習Ⅱ」「臨床栄養学Ⅱ」は、「2③」→「2④」へ変更。
 - ・ 「栄養教育概論」は、「1③」→「1②」へ変更。
 - ・ 「臨床栄養学Ⅰ」「臨床栄養学Ⅱ」「臨床栄養学Ⅲ」「地域保健臨床実習」「給食経営管理臨床実習Ⅰ」「健康科学総合演習」は、「3③」→「3④」へ変更。
 - ・ 「給食栄養・安全管理論」は、「2③」→「2④」へ変更。
 - ・ 「教職入門」は、「1③」→「1④」へ変更。
- 【教育効果向上の観点から、当該科目と教育課程における他科目の内容や履修の時期等を再度考慮したことによる配当学年・学期の変更】
- ・ 全学共通教育科目「経済学」は「1・2・3・4④」→「1・2・3・4①」へ変更。
 - ・ 全学共通教育科目「家族社会学」は「1・2・3・4①」→「1・2・3・4④」へ変更。
 - ・ 全学共通教育科目「日本国憲法」は、「1・2・3・4③」→「1・2・3・4②」へ変更。
 - ・ 全学共通教育科目「法学」は、「1・2・3・4②」→「1・2・3・4③」へ変更。
- 【専任教員の退職・後任の補充/教育効果向上のための専任教員の新規採用・科目担当者の追加/その他やむを得ない事情による変更】
- ・ 全学共通教育科目「ICTリテラシーⅠ」「ICTリテラシーⅡ」は、「(教授4 准教授2)→(教授3 准教授2 兼1)」に変更する。科目の指導体制は教授3、准教授2、兼1(本学准教授)であり、教育上支障はない。
 - ・ 全学共通教育科目「英語総合Ⅰ」は教育内容の充実を図るため、「(准教授1 兼7)→(兼3)」に変更する。少人数体制でのクラス編成を行い、配当年次を2回設定することとしたため、教育上支障はない。
 - ・ 全学共通教育科目「英語表現Ⅰ」「英語表現Ⅱ」は教育内容の充実を図るため、「(准教授1 兼7)→(教授2 兼2)」に変更する。少人数体制でのクラス編成を行い、配当年次を2回設定することとしたため、教育上支障はない。
 - ・ 全学共通教育科目「中国語Ⅰ」「中国語Ⅱ」は教育内容の充実を図るため、「(兼3)→(兼2)」に変更する。少人数体制でのクラス編成を行い、配当年次を2回設定することとしたため、教育上支障はない。
 - ・ 全学共通教育科目「文学」は、教育効果向上のための専任教員2名の科目担当者の追加、「(教授1)→(教授3)」
 - ・ 全学共通教育科目「歴史学」クラス数の減に伴い、准教授を1名減、「(准教授2)→(准教授1)」に変更する。教育上支障はない。
 - ・ 全学共通教育科目「科学史」は教育効果向上の観点から、科目内容を精査し、オムニバス方式の授業に変更した。これに伴い、各回の内容に相応しい兼任教員9名の担当者を追加する。「(兼1)→(兼10)」
 - ・ 全学共通教育科目「いのちと科学」は、科目の指導・責任体制も含め、教育の質やその効果の向上の観点から、各担当教員の取扱領域を精査し、兼任4名減(「教授1 准教授1 兼4」→「教授1 准教授1」)。なお、科目の指導・責任体制については、専任教員が引き継ぐため、教育上支障はない。
 - ・ 全学共通教育科目「生活に役立つ力学」は教育内容の充実を図るため、兼任教員を2名追加する。「(兼1)→(兼3)」
 - ・ 「文化継承入門Ⅰ」「文化継承入門Ⅱ」は、急遽、准教授1名の退職(他大学への移籍)したことに伴い、「(教授5 准教授3 兼3)→(教授5 准教授2 兼1)」に変更する。この授業は共同方式であり、授業内容、授業責任体制等は引き続き専任教員が担うため、教育上の支障はない。
 - ・ 「会計学概論」「簿記原理」「中級簿記」は、本学科の当該科目に適合する他の専任教員(講師)に変更する(「准教授1」→「講師1」)。なお、教育上支障はない。
 - ・ 「調理科学実験」は教育内容の充実を図るため、兼任教員を1名追加する。「(教授1)→(教授1 兼1)」
 - ・ 全学共通教育科目「大学基礎セミナーⅠ」「大学基礎セミナーⅡ」「アカデミック・ライティング」「クリティカル・シンキング」「プレゼンテーション演習」「地域養育ゼミナールA」「地域養育ゼミナールB」は、准教授1名の教授への昇格と准教授・講師1名の新規採用、准教授1名の退職により、専任教員等の配置人数の変更を行う。「(教授33 准教授19 助教2)→(教授34 准教授18 講師1 助教2)」。
 - ・ 「多文化共生入門Ⅰ」「多文化共生入門Ⅱ」は、准教授1名の教授への昇格により、専任教員等の配置人数の変更を行う。「(教授6 准教授4、兼1)→(教授7 准教授3)」。
 - ・ 「地域協働演習」「地域課題解決研究Ⅰ」「地域課題解決研究Ⅱ」は、准教授1名の教授への昇格と准教授・講師1名の新規採用、准教授1名の退職により、「(教授33 准教授19 助教2)→(教授34 准教授18 講師1 助教2)」。

【令和3年度】

【教育効果向上の観点から、当該科目と教育課程における他科目の内容や履修の時期、クラスの編成人数を再度考慮したことによる配当学年・学期の変更】

- ・ 全学共通教育科目「英語総合Ⅲ」は、「2③」→「2①②」へ変更。
- ・ 全学共通教育科目「英語総合Ⅳ」は、「2④」→「2③④」へ変更。
- ・ 全学共通教育科目「英語表現Ⅲ」は、「2①」→「2①②」へ変更。
- ・ 全学共通教育科目「英語表現Ⅳ」は、「2②」→「2③④」へ変更。

【教育効果向上の観点から、当該科目と教育課程における他科目の内容や履修の時期等を再度考慮したことによる配当学年・学期の変更】

- ・ 全学共通教育科目「地域情報発信論」は「2・3・4④」→「2・3・4②」へ変更。
- ・ 全学共通教育科目「地域教養ゼミナールA」は「3・4①③」→「2・3・4①③」へ変更。
- ・ 全学共通教育科目「地域教養ゼミナールB」は、「3・4②④」→「2・3・4②④」へ変更。
- ・ 全学共通教育科目「キャリアビジョン(デベロップメント)」は、「2・3・4①」→「2・3・4③」へ変更。
- ・ 全学共通教育科目「ボランティア」は、「2・3・4③」→「2・3・4②」へ変更。
- ・ 全学共通教育科目「インターンシップ」は、「2・3・4④」→「2・3・4①②」へ変更。
- ・ 全学共通教育科目「多様性理解(ジェンダー論)」は、「2・3・4①」→「2・3・4③」へ変更。
- ・ 専門教育科目「経営管理論」は、「2①」→「2③」へ変更。
- ・ 専門教育科目「解剖学・病理学実習」は、「2③」→「2②」へ変更。
- ・ 専門教育科目「臨床栄養教育論」は、「2③」→「2④」へ変更。

【専任教員の退職・後任の補充/教育効果向上のための専任教員の新規採用・科目担当者の追加/その他やむを得ない事情による変更】

- ・ 全学共通教育科目「ICTリテラシーⅠ」は実施状況を鑑みて担当教員の見直しを行い、「(教授3 准教授2 兼1)→(教授2 准教授3 兼1)」に変更する。授業の質の低下と科目内容に変更がないよう教員を配置しており、教育上の支障はない。
- ・ 全学共通教育科目「ICTリテラシーⅡ」は実施状況を鑑みて担当教員の見直しを行い、「(教授3 准教授2 兼1)→(教授2 准教授2 兼1)」に変更する。授業の質の低下と科目内容に変更がないよう教員を配置しており、教育上の支障はない。
- ・ 全学共通教育科目「英語総合Ⅰ」は教育内容の充実と実施状況を鑑みて兼任教員1名を追加、「(兼3)→(兼4)」に変更する。教育上支障はない。
- ・ 全学共通教育科目「英語総合Ⅱ」は担当する専任教員1名が定年退職したため、実施状況を鑑みて担当教員の見直しを行い、「(教授2 兼2)→(教授1 兼3)」に変更する。授業の質の低下と科目内容に変更がないよう教員を配置しており、教育上の支障はない。
- ・ 全学共通教育科目「英語総合Ⅲ」は科目内容を鑑みて、少人数体制でのクラス編成を行い、配当年次の学期(クォーター)を2回設定することとしたことから、「(教授2 兼6)→(兼3)」に変更する。教員一人当たりが担当する学生数に変更はなく、教育上支障はない。
- ・ 全学共通教育科目「英語総合Ⅳ」は科目内容を鑑みて、少人数体制でのクラス編成を行い、配当年次の学期(クォーター)を2回設定することとしたことから、「(教授2 兼6)→(准教授1 兼2)」に変更する。教員一人当たりが担当する学生数に変更はなく、教育上支障はない。
- ・ 全学共通教育科目「英語表現Ⅲ」は科目内容を鑑みて、少人数体制でのクラス編成を行い、配当年次の学期(クォーター)を2回設定することとしたことから、「(教授1 兼6)→(兼2)」に変更する。教員一人当たりが担当する学生数に変更はなく、教育上支障はない。
- ・ 全学共通教育科目「英語表現Ⅳ」は科目内容を鑑みて、少人数体制でのクラス編成を行い、配当年次の学期(クォーター)を2回設定することとしたことから、「(教授1 兼6)→(兼3)」に変更する。教員一人当たりが担当する学生数に変更はなく、教育上支障はない。
- ・ 全学共通教育科目「中国語Ⅰ」「中国語Ⅱ」は教育内容の充実と実施状況を鑑みて兼任教員1名を追加、「(兼2)→(兼3)」に変更する。
- ・ 全学共通教育科目「韓国語Ⅰ」「韓国語Ⅱ」は教育内容の充実と実施状況を鑑みて兼任教員1名を追加、「(教授1 准教授1)→(教授1 准教授1 兼1)」に変更する。
- ・ 全学共通教育科目「科学史」は教育内容の充実と実施状況を鑑みて兼任教員1名を追加、「(兼10)→(兼11)」に変更する。
- ・ 全学共通教育科目「生活に役立つ力学」は実施状況を鑑みて担当教員の見直しを行い、「(兼3)→(兼1)」に変更する。授業の質の低下と科目内容に変更がないよう教員を配置しており、教育上の支障はない。
- ・ 全学共通教育科目「大学基礎ゼミナールⅠ」「大学基礎ゼミナールⅡ」「アカデミック・ライティング」「クリティカル・シンキング」「プレゼンテーション演習」「地域教養ゼミナールA」「地域教養ゼミナールB」は、専任助教1名の専任准教授への昇任と准教授3名・助教2名の新規採用、教授3名の退職により、専任教員等の配置人数の変更を行う。「(教授34 准教授18 講師1 助教2)→(教授31 准教授22 講師1 助教4)」授業の質の低下と科目内容に変更がないよう引き続き全専任教員を配置しており、教育上の支障はない。
- ・ 全学共通教育科目「地域情報発信論」は教育内容を鑑みて兼任教員1名を追加、「(准教授1 兼2)→(准教授1 兼3)」に変更する。
- ・ 全学共通教育科目「海外研修」は担当していた教授1名が退職したため、「(教授2 准教授1)→(教授1 准教授1)」に変更する。科目内容を鑑みて、適任の専任教員2名が担当し、教育の質を維持するため教育上支障はない。
- ・ 専門教育科目「多文化共生入門Ⅰ」「多文化共生入門Ⅱ」は、准教授2名の採用と教授1名の退職により、専任教員等の配置人数の変更を行う。「(教授7 准教授3)→(教授6 准教授5)」。担当する専任教員で連携しながら科目を実施するため、教育上支障はない。
- ・ 専門教育科目「文化継承入門Ⅰ」「文化継承入門Ⅱ」は、准教授1名の採用により、専任教員等の配置人数の変更を行う。「(教授5 准教授2)→(教授5 准教授3)」担当する専任教員で連携しながら科目を実施するため、教育上支障はない。
- ・ 専門教育科目「生命科学」は、担当する教授1名の退職により、「(教授1)→(兼1)」に変更する。担当していた教授が、兼任教員として引き続き担当するため、科目内容に変更はなく、教育上支障はない。
- ・ 専門教育科目「生体防御学」「免疫学実験」は、担当する教授1名の退職により、「(教授1)→(兼1)」に変更する。担当していた教授が、兼任教員として引き続き担当するため、科目内容に変更はなく、教育上支障はない。
- ・ 専門教育科目「健康スポーツ科学」「運動生理学」「運動生理学実験」「スポーツ医学」は、担当する教授1名の退職により、「(教授1)→(准教授1)」に変更する。より専門に応じた担当教員を配置しており、教育上支障はない。
- ・ 専門教育科目「分析化学実験」は、教育内容の充実と実施状況を鑑みて、「(兼1)→(准教授1)」に変更する。
- ・ 専門教育科目「調理科学実験」は、教育内容を鑑みて兼任教員1名を追加、「(教授1 兼1)→(教授1 兼2)」に変更する。
- ・ 専門教育科目「臨床栄養教育論」は、教育内容を鑑みて兼任教員1名を追加、「(教授1)→(教授1 兼1)」に変更する。
- ・ 「卒業論文Ⅰ」「卒業論文Ⅱ」は、助教1名の准教授への昇格と教授2名の退職により、「(教授9 准教授3)→(教授7 准教授4)」に変更する。担当する専任教員で連携しながら科目を実施するため、教育上支障はない。
- ・ 「地域協働演習」「地域課題解決研究Ⅰ」「地域課題解決研究Ⅱ」は、専任助教1名の専任准教授への昇任と准教授3名・助教2名の新規採用、教授3名の退職により、専任教員等の配置人数の変更を行う。「(教授34 准教授18 講師1 助教2)→(教授31 准教授22 講師1 助教4)」。担当する専任教員で連携しながら科目を実施するため、教育上支障はない。
- ・ その他科目「学校栄養教育論Ⅰ」は、「(教授1 兼1)→(助教1 兼1)」に変更する。担当していた専任教員が引き続き連携サポートを行うため教育上支障はない。
- ・ その他科目「学校栄養教育論Ⅱ」は、「(准教授1 兼1)→(助教1 兼1)」に変更する。担当していた専任准教授が引き続き連携サポートを行うため教育上支障はない。
- ・ その他科目「教育実習指導(栄養教諭)」は、教育内容を鑑みて兼任教員1名を追加、「(教授3 兼1)→(教授3 助教1 兼1)」に変更する。
- ・ その他科目「教育実習(栄養教諭)」「教職実践演習(栄養教諭)」は、教育内容を鑑みて専任助教1名を追加、「(教授1 兼1)→(教授1 助教1 兼1)」に変更する。

【令和4年度】

【令和5年度】

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
44 科目	123 科目	30 科目	197 科目	44 科目 [0]	123 科目 [0]	24 科目 [Δ6]	191 科目 [Δ6]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ ~~履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。~~
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	生徒・進路指導論	2	2③	一般	自由	教職課程に必要な科目として開講を予定していたが、認定申請手続き中に不要な科目であることが判明し削除する。なお、削除後の教育課程で教職課程認定申請を行い、認定通知書を受領しており、教育上の問題はない。(2)
2	教育実習指導	1	4①②	一般	自由	教職課程に必要な科目として開講を予定していたが、認定申請手続き中に不要な科目であることが判明し削除する。なお、削除後の教育課程で教職課程認定申請を行い、認定通知書を受領しており、教育上の問題はない。(2)
3	教育実習Ⅰ	2	4①②	一般	自由	教職課程に必要な科目として開講を予定していたが、認定申請手続き中に不要な科目であることが判明し削除する。なお、削除後の教育課程で教職課程認定申請を行い、認定通知書を受領しており、教育上の問題はない。(2)
4	教育実習Ⅱ	2	4①②	一般	自由	教職課程に必要な科目として開講を予定していたが、認定申請手続き中に不要な科目であることが判明し削除する。なお、削除後の教育課程で教職課程認定申請を行い、認定通知書を受領しており、教育上の問題はない。(2)
5	教育実践演習(中・高)	2	4③③	一般	自由	教職課程に必要な科目として開講を予定していたが、認定申請手続き中に不要な科目であることが判明し削除する。なお、削除後の教育課程で教職課程認定申請を行い、認定通知書を受領しており、教育上の問題はない。(2)
6	介護等体験	2	3①②③③	一般	自由	教職課程に必要な科目として開講を予定していたが、認定申請手続き中に不要な科目であることが判明し削除する。なお、削除後の教育課程で教職課程認定申請を行い、認定通知書を受領しており、教育上の問題はない。(2)

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

廃止する科目は、教職課程に必要な科目として開講予定であったが、教職課程認定申請を進める中で不要な科目だと判明し、教育上支障ないと判断したため、削除することとする。学生への周知については、授業の周知に使用する学生便覧へ記載しないこととし、誤って履修することを防止している。(2)

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{6}{197} = \boxed{3.04} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 舎 敷 地 運 動 場 用 地 小 計 そ の 他 合 計	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 (運動場用地のうち、三原市からの 借用地面積：9923.12㎡/借用地 期間：平成29年4月1日～平成39年 (令和9年3月31日)まで)		
	校 舎 敷 地	136,062㎡	0㎡	0㎡	136,062㎡			
	運 動 場 用 地	45,604㎡	0㎡	0㎡	45,604㎡			
	小 計	181,666㎡	0㎡	0㎡	181,666㎡			
	そ の 他	121,857㎡	0㎡	0㎡	121,857㎡			
	合 計	303,523㎡	0㎡	0㎡	303,523㎡			
(2) 校 舎		専 用 86,806㎡ (86,806㎡)	共 用 0㎡ (0㎡)	共用する他の 学校等の専用 0㎡ (0㎡)	計 86,806㎡ (86,806㎡)	大学全体		
(3) 教 室 等		講 義 室 26室	演 習 室 12室	実験実習室 18室	情報処理学習施設 6室 (補助職員 0人)	語学学習施設 2室 (補助職員 0人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称 地域創生学部 地域創生学科		室 数 60 99	室	・R2編入のための修正。 ・令和3年4月 専任教員3名、専任助教2名の 新規採用と専任教授3名の定年退職 を反映する。(3)		
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	地域創生学部	285,366 [29,807] 285,580 [29,939] 286,732 [29,727]	5,404 [682] 5,355 [865] 272 [37]	8,370 [8,365] 8,340 [8,335] 13 [11]	7,348 7,250 4,758	40 0	0	
	計	285,366 [29,807] 285,580 [29,939] 286,732 [29,727]	5,404 [682] 5,355 [865] 272 [37]	8,370 [8,365] 8,340 [8,335] 13 [11]	7,348 7,250 4,758	40 0	0	
		(285,366 [29,807]) (285,580 [29,939]) (286,732 [29,727])	(5,404 [682]) (5,355 [865]) (272 [37])	(8,370 [8,365]) (8,340 [8,335]) (13 [11])	(7,348) (7,250) (4,758)	(40) (0)	(0)	
(6) 図 書 館	面 積	3,333	閱 覧 座 席 数	291	収 納 可 能 冊 数	m		
(7) 体 育 館	面 積	1,240㎡	体育館以外のスポーツ施設の概要					
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経 費 の 見 積 り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	495千円 576千円	479千円 495千円 576千円	図書購入費	21,257千円	27,040千円 31,452千円	20,603千円 27,040千円 31,452千円
	共同研究費等	7,143千円 8,777千円	4,927千円 7,143千円 8,777千円	設備購入費	345,058千円	146,645千円 183,348千円	99,752千円 102,540千円 35,353千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次 818千円 931千円	第2年次 536千円 536千円	第3年次 536千円 536千円	第4年次 536千円 536千円	第5年次 536千円 536千円	第6年次 536千円 536千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		広島県からの運営費交付金等						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校舎等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学 名称	県立広島大学						学生募集停止学科数	11	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
人間文化学部	4	120	0	480	-	-	-	-	平成17	-	
国際文化学科	4	85	0	340	学士 (国際文化学)	-	-	-	平成17	広島市南区学品東1-1-71	令和2年4月学生募集停止
健康科学科	4	35	0	140	学士 (健康科学)	-	-	-	平成17	同上	令和2年4月学生募集停止
経営情報学部	4	100	0	400	-	-	-	-	平成17	-	
経営学科	4	60	0	240	学士 (経営学)	-	-	-	平成17	同上	令和2年4月学生募集停止
経営情報学科	4	40	0	160	学士 (経営情報学)	-	-	-	平成17	同上	令和2年4月学生募集停止
生命環境学部	4	165	0	660	-	-	-	-	平成17	-	
生命科学科	4	110	0	440	学士 (生命科学)	-	-	-	平成17	庄原市七塚町5562番地	令和2年4月学生募集停止
環境科学科	4	55	0	220	学士 (環境科学)	-	-	-	平成17	同上	令和2年4月学生募集停止
保健福祉学部	4	190	0	760	-	-	-	-	平成17	-	
看護学科	4	60	0	240	学士 (看護学)	-	-	-	平成17	三原市学園町1番1号	令和3年4月学生募集停止
理学療法学科	4	30	0	120	学士 (理学療法学)	-	-	-	平成17	同上	令和3年4月学生募集停止
作業療法学科	4	30	0	120	学士 (作業療法学)	-	-	-	平成17	同上	令和3年4月学生募集停止
コミュニケーション障害学科	4	30	0	120	学士 (コミュニケーション障害学)	-	-	-	平成17	同上	令和3年4月学生募集停止
人間福祉学科	4	40	0	160	学士 (人間福祉学)	-	-	-	平成17	同上	令和3年4月学生募集停止
地域創生学部					-	1.06	1.07	-			
地域創生学科	4	200	0	800		1.06	1.07	-	令和2	広島市南区学品東1-1-71	
地域文化コース	4	75	0	300	学士 (地域創生)	1.06	1.06	-	令和2	同上	
地域産業コース	4	90	0	360				-	令和2	同上	
健康科学コース		35	0	140		1.06	1.08	-	令和2	同上	
生物資源科学部	4	140	0	560	-	1.02	1.00	-	令和2	庄原市七塚町5562番地	
地域資源開発学科	4	40	0	160	学士 (地域資源開発学)	1.02	1.00	-	令和2	同上	
生命環境学科	4	100	0	400	学士 (生命環境学)	1.03	1.00	-	令和2	同上	
保健福祉学部	4	190	0	760	-	1.03	1.03	-	令和3	-	
保健福祉学科	4	190	0	760	-	1.02	1.02	-	令和3	三原市学園町1番1号	
看護学コース	4	60	0	240	学士 (保健福祉学)	1.05	1.05	-	令和3	同上	
理学療法学コース	4	30	0	120	学士 (保健福祉学)	1.00	1.00	-	令和3	同上	
作業療法学コース	4	30	0	120	学士 (保健福祉学)	1.00	1.00	-	令和3	同上	
コミュニケーション障害学コース	4	30	0	120	学士 (保健福祉学)	1.00	1.00	-	令和3	同上	
人間福祉学コース	4	40	0	160	学士 (保健福祉学)	1.07	1.07	-	令和3	同上	

大学院総合学術研究科	2	155	0	155	-	0.77	0.73	-	平成17	広島市南区宇品東1-1-71	
人間文化学部専攻	2	10	0	20	修士 (人間文化学)	0.95	1.00	-	平成17	同上	
情報マネジメント専攻	2	10	0	20	修士 (情報マネジメント学)	0.65	0.50	-	平成17	同上	
生命システム科学専攻 (博士課程前期)	2	30	0	60	修士 (生命システム科学)	0.55	0.60	-	平成17	同上	
保健福祉学専攻	2	20	0	40	修士 (保健福祉学)	1.02	1.05	-	平成17	同上	
生命システム科学専攻 (博士課程後期)	3	5	0	15	博士 (生命システム科学)	1.06	0.20	-	平成17	同上	
経営管理研究科	2	25	0	50	-	1.20	1.12	-	平成28	広島市南区宇品東1-1-71	
ビジネス・リーダーシップ専攻	2	25	0	50	経営修士 (専門職)	1.20	1.12	-	平成28	同上	
大学全体	-	520	0	1565	-	-	-	-	-	-	
大学の名称	叡啓大学					学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備考	
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和3年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地	
ソーシャルシステムデザイン学部 ソーシャルシステムデザイン学科	年	人	年次	人	学士 (学術)	倍	倍	-	令和3	広島県広島市中区鞆町1-5	令和3年度は開学年度であり、春季入学のみ確定し、秋季入学は未確定のため、春季入学の入学定員と入学者数による入学定員超過率とした。

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず、履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

専任・兼任・兼任の別	氏名 <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	氏名 <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	氏名 <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	氏名 <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専 教授	船津 晶代 <令和2年4月> 英語総合Ⅲ 英語総合Ⅳ 海外研修 大学基礎セミナーⅠ 大学基礎セミナーⅡ アカデミック・ライティング クリティカル・シンキング プレゼンテーション演習 地域教養ゼミナールA 地域教養ゼミナールB 英語音声学 多文化共生入門Ⅰ 多文化共生入門Ⅱ 上級英語総合(Critical Reading Ⅰ) 上級英語総合(Critical Reading Ⅱ) 上級英語表現(Global Communication Ⅰ) 上級英語表現(Global Communication Ⅱ) 外国語検定(英語)Ⅰ(認定) 外国語検定(英語)Ⅱ(認定) 外国語検定(英語)Ⅲ(認定) 児童英語教育論	専 教授	船津 晶代 <令和2年4月> 英語総合Ⅱ 英語総合Ⅲ 英語総合Ⅳ 海外研修 大学基礎セミナーⅠ 大学基礎セミナーⅡ アカデミック・ライティング クリティカル・シンキング プレゼンテーション演習 地域教養ゼミナールA 地域教養ゼミナールB 英語音声学 多文化共生入門Ⅰ 多文化共生入門Ⅱ 外国語検定(英語)Ⅰ(認定) 外国語検定(英語)Ⅱ(認定) 外国語検定(英語)Ⅲ(認定)	専 教授	船津 晶代 <令和3年4月> 英語総合Ⅱ 英語音声学 上級英語表現(Global Communication Ⅱ) 外国語検定(英語)Ⅰ(認定) 外国語検定(英語)Ⅱ(認定) 外国語検定(英語)Ⅲ(認定)		
専 教授	向居 暁 <令和2年4月> 心理学 教育心理学 教育実習指導 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 介護等体験 大学基礎セミナーⅠ 大学基礎セミナーⅡ アカデミック・ライティング クリティカル・シンキング プレゼンテーション演習 地域教養ゼミナールA 地域教養ゼミナールB 共生認知心理論 共生認知心理論研究 多文化共生入門Ⅰ 多文化共生入門Ⅱ 地域協働演習 卒業論文(専門演習Ⅰ) 卒業論文(専門演習Ⅱ) 地域課題解決研究Ⅰ 地域課題解決研究Ⅱ	専 教授	向居 暁 <令和2年4月> 心理学 教育心理学 教育実習指導 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 介護等体験 大学基礎セミナーⅠ 大学基礎セミナーⅡ アカデミック・ライティング クリティカル・シンキング プレゼンテーション演習 地域教養ゼミナールA 地域教養ゼミナールB 共生認知心理論 共生認知心理論研究 多文化共生入門Ⅰ 多文化共生入門Ⅱ 地域協働演習 卒業論文(専門演習Ⅰ) 卒業論文(専門演習Ⅱ) 地域課題解決研究Ⅰ 地域課題解決研究Ⅱ	専 教授	向居 暁 <令和2年4月> 心理学 教育心理学 教育実習指導 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 介護等体験 大学基礎セミナーⅠ 大学基礎セミナーⅡ アカデミック・ライティング クリティカル・シンキング プレゼンテーション演習 地域教養ゼミナールA 地域教養ゼミナールB 共生認知心理論 共生認知心理論研究 多文化共生入門Ⅰ 多文化共生入門Ⅱ 地域協働演習 卒業論文(専門演習Ⅰ) 卒業論文(専門演習Ⅱ) 地域課題解決研究Ⅰ 地域課題解決研究Ⅱ		
専 教授	柳川 順子 <令和2年4月> 大学基礎セミナーⅠ 大学基礎セミナーⅡ アカデミック・ライティング クリティカル・シンキング プレゼンテーション演習 地域教養ゼミナールA 地域教養ゼミナールB 東アジア文学論(中国文学) 日中比較文学論 東アジア文学論研究 文化継承入門Ⅰ 文化継承入門Ⅱ 地域協働演習 卒業論文(専門演習Ⅰ) 卒業論文(専門演習Ⅱ) 地域課題解決研究Ⅰ 地域課題解決研究Ⅱ	専 教授	柳川 順子 <令和2年4月> 大学基礎セミナーⅠ 大学基礎セミナーⅡ 文学 アカデミック・ライティング クリティカル・シンキング プレゼンテーション演習 地域教養ゼミナールA 地域教養ゼミナールB 東アジア文学論(中国文学) 日中比較文学論 東アジア文学論研究 文化継承入門Ⅰ 文化継承入門Ⅱ 地域協働演習 卒業論文(専門演習Ⅰ) 卒業論文(専門演習Ⅱ) 地域課題解決研究Ⅰ 地域課題解決研究Ⅱ	専 教授	柳川 順子 <令和2年4月> 大学基礎セミナーⅠ 大学基礎セミナーⅡ 文学 アカデミック・ライティング クリティカル・シンキング プレゼンテーション演習 地域教養ゼミナールA 地域教養ゼミナールB 東アジア文学論(中国文学) 日中比較文学論 東アジア文学論研究 文化継承入門Ⅰ 文化継承入門Ⅱ 地域協働演習 卒業論文(専門演習Ⅰ) 卒業論文(専門演習Ⅱ) 地域課題解決研究Ⅰ 地域課題解決研究Ⅱ 中級中国語総合		
専 教授	吉本 和弘 <令和2年4月> 英語総合Ⅲ 英語総合Ⅳ 海外研修 大学基礎セミナーⅠ 大学基礎セミナーⅡ アカデミック・ライティング クリティカル・シンキング プレゼンテーション演習 地域教養ゼミナールA 地域教養ゼミナールB 英国社会文化論 英国社会文化論研究 多文化共生入門Ⅰ 多文化共生入門Ⅱ 地域協働演習 卒業論文(専門演習Ⅰ) 卒業論文(専門演習Ⅱ) 地域課題解決研究Ⅰ 地域課題解決研究Ⅱ 上級英語総合(Critical Reading Ⅰ) 上級英語総合(Critical Reading Ⅱ) 上級英語総合(Seminar) 上級英語表現(Global Communication Ⅰ) 上級英語表現(Global Communication Ⅱ) 外国語検定(英語)Ⅰ(認定) 外国語検定(英語)Ⅱ(認定) 外国語検定(英語)Ⅲ(認定)	専 教授	吉本 和弘 <令和2年4月> 英語総合Ⅱ 英語総合Ⅲ 英語総合Ⅳ 海外研修 大学基礎セミナーⅠ 大学基礎セミナーⅡ アカデミック・ライティング クリティカル・シンキング プレゼンテーション演習 地域教養ゼミナールA 地域教養ゼミナールB 英国社会文化論 英国社会文化論研究 多文化共生入門Ⅰ 多文化共生入門Ⅱ 地域協働演習 卒業論文(専門演習Ⅰ) 卒業論文(専門演習Ⅱ) 地域課題解決研究Ⅰ 地域課題解決研究Ⅱ 上級英語総合(Critical Reading Ⅰ) 上級英語総合(Critical Reading Ⅱ) 上級英語総合(Seminar) 外国語検定(英語)Ⅰ(認定) 外国語検定(英語)Ⅱ(認定) 外国語検定(英語)Ⅲ(認定)	専 教授	吉本 和弘 <令和2年4月> 英語総合Ⅱ 海外研修 大学基礎セミナーⅠ 大学基礎セミナーⅡ アカデミック・ライティング クリティカル・シンキング プレゼンテーション演習 地域教養ゼミナールA 地域教養ゼミナールB 英国社会文化論 英国社会文化論研究 多文化共生入門Ⅰ 多文化共生入門Ⅱ 地域協働演習 卒業論文(専門演習Ⅰ) 卒業論文(専門演習Ⅱ) 地域課題解決研究Ⅰ 地域課題解決研究Ⅱ 上級英語総合(Critical Reading Ⅰ) 外国語検定(英語)Ⅰ(認定) 外国語検定(英語)Ⅱ(認定) 外国語検定(英語)Ⅲ(認定)		

専任・兼任・兼任の別	氏名 職名	氏名 <就任(予定)年月>	氏名 職名	氏名 <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	氏名 職名	氏名 <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	氏名 職名	氏名 <就任(予定)年月>
	専任	陳 春祥 <令和2年4月>	専任	陳 春祥 <令和2年4月>		専任	陳 春祥 <令和2年4月>		専任	陳 春祥 <令和2年4月>
	専任	富田 哲治 <令和2年4月>	専任	富田 哲治 <令和2年4月>		専任	富田 哲治 <令和2年4月>		専任	富田 哲治 <令和2年4月>
	専任	韓 虎剛 <令和2年4月>	専任	韓 虎剛 <令和2年4月>		専任	韓 虎剛 <令和2年4月>		専任	韓 虎剛 <令和2年4月>

専任・兼任・兼任の別	氏名 <就任(予定)年月> 担任授業科目名	専任・兼任・兼任の別	氏名 <就任(予定)年月> 担任授業科目名	専任・兼任・兼任の別	氏名 <就任(予定)年月> 担任授業科目名	専任・兼任・兼任の別	氏名 <就任(予定)年月> 担任授業科目名
専 教授	藤井 保 <令和2年4月> 大学基礎セミナーⅠ 大学基礎セミナーⅡ アカデミック・ライティング クリティカル・シンキング プレゼンテーション演習 地域教養ゼミナールA 地域教養ゼミナールB 生命科学 生体防御学 免疫学実験 地域協働演習 卒業論文Ⅰ 卒業論文Ⅱ 地域課題解決研究Ⅰ 地域課題解決研究Ⅱ	専 教授	藤井 保 <令和2年4月> 大学基礎セミナーⅠ 大学基礎セミナーⅡ アカデミック・ライティング クリティカル・シンキング プレゼンテーション演習 地域教養ゼミナールA 地域教養ゼミナールB 生命科学 生体防御学 免疫学実験 地域協働演習 卒業論文Ⅰ 卒業論文Ⅱ 地域課題解決研究Ⅰ 地域課題解決研究Ⅱ	兼任 講師	藤井 保 <令和2年4月> 生命科学 生体防御学 免疫学実験		
専 教授	三浦 朗 <令和2年4月> 大学基礎セミナーⅠ 大学基礎セミナーⅡ アカデミック・ライティング クリティカル・シンキング プレゼンテーション演習 地域教養ゼミナールA 地域教養ゼミナールB 体力科学 トレーニング科学 体力評価実習 スポーツ科学実習 地域協働演習 卒業論文Ⅰ 卒業論文Ⅱ 地域課題解決研究Ⅰ 地域課題解決研究Ⅱ	専 教授	三浦 朗 <令和2年4月> 大学基礎セミナーⅠ 大学基礎セミナーⅡ アカデミック・ライティング クリティカル・シンキング プレゼンテーション演習 地域教養ゼミナールA 地域教養ゼミナールB 体力科学 トレーニング科学 体力評価実習 スポーツ科学実習 地域協働演習 卒業論文Ⅰ 卒業論文Ⅱ 地域課題解決研究Ⅰ 地域課題解決研究Ⅱ	専 教授	三浦 朗 <令和2年4月> 大学基礎セミナーⅠ 大学基礎セミナーⅡ アカデミック・ライティング クリティカル・シンキング プレゼンテーション演習 地域教養ゼミナールA 地域教養ゼミナールB 体力科学 トレーニング科学 体力評価実習 スポーツ科学実習 地域協働演習 卒業論文Ⅰ 卒業論文Ⅱ 地域課題解決研究Ⅰ 地域課題解決研究Ⅱ		
専 教授	森脇 弘子 <令和2年4月> 大学基礎セミナーⅠ 大学基礎セミナーⅡ アカデミック・ライティング クリティカル・シンキング プレゼンテーション演習 地域教養ゼミナールA 地域教養ゼミナールB 教育実習指導(実教教諭) 世代別実習教育論 公衆栄養学 地域栄養学 公衆栄養学実習 地域保健臨地実習 総合演習 健康科学総合演習※ 地域協働演習 卒業論文Ⅰ 卒業論文Ⅱ 地域課題解決研究Ⅰ 地域課題解決研究Ⅱ	専 教授	森脇 弘子 <令和2年4月> 大学基礎セミナーⅠ 大学基礎セミナーⅡ アカデミック・ライティング クリティカル・シンキング プレゼンテーション演習 地域教養ゼミナールA 地域教養ゼミナールB 教育実習指導(実教教諭) 世代別実習教育論 公衆栄養学 地域栄養学 公衆栄養学実習 地域保健臨地実習 総合演習 健康科学総合演習※ 地域協働演習 卒業論文Ⅰ 卒業論文Ⅱ 地域課題解決研究Ⅰ 地域課題解決研究Ⅱ	専 教授	森脇 弘子 <令和2年4月> 大学基礎セミナーⅠ 大学基礎セミナーⅡ アカデミック・ライティング クリティカル・シンキング プレゼンテーション演習 地域教養ゼミナールA 地域教養ゼミナールB 教育実習指導(実教教諭) 世代別実習教育論 公衆栄養学 地域栄養学 公衆栄養学実習 地域保健臨地実習 総合演習 健康科学総合演習※ 地域協働演習 卒業論文Ⅰ 卒業論文Ⅱ 地域課題解決研究Ⅰ 地域課題解決研究Ⅱ		
専 教授	山岡 雅子 <令和2年4月> 大学基礎セミナーⅠ 大学基礎セミナーⅡ アカデミック・ライティング クリティカル・シンキング プレゼンテーション演習 地域教養ゼミナールA 地域教養ゼミナールB 教育実習指導(実教教諭) 教育実習(実教教諭) 教職実践演習(実教教諭) 基礎栄養学 基礎栄養学実験 ライフステージ栄養学 スポーツ栄養学 応用栄養学実習 地域協働演習 卒業論文Ⅰ 卒業論文Ⅱ 地域課題解決研究Ⅰ 地域課題解決研究Ⅱ	専 教授	山岡 雅子 <令和2年4月> 大学基礎セミナーⅠ 大学基礎セミナーⅡ アカデミック・ライティング クリティカル・シンキング プレゼンテーション演習 地域教養ゼミナールA 地域教養ゼミナールB 教育実習指導(実教教諭) 教育実習(実教教諭) 教職実践演習(実教教諭) 基礎栄養学 基礎栄養学実験 ライフステージ栄養学 スポーツ栄養学 応用栄養学実習 地域協働演習 卒業論文Ⅰ 卒業論文Ⅱ 地域課題解決研究Ⅰ 地域課題解決研究Ⅱ	専 教授	山岡 雅子 <令和2年4月> 大学基礎セミナーⅠ 大学基礎セミナーⅡ アカデミック・ライティング クリティカル・シンキング プレゼンテーション演習 地域教養ゼミナールA 地域教養ゼミナールB 教育実習指導(実教教諭) 教育実習(実教教諭) 教職実践演習(実教教諭) 基礎栄養学 基礎栄養学実験 ライフステージ栄養学 スポーツ栄養学 応用栄養学実習 地域協働演習 卒業論文Ⅰ 卒業論文Ⅱ 地域課題解決研究Ⅰ 地域課題解決研究Ⅱ		

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	
		<就任(予定)年月>						<就任(予定)年月>
		担当授業科目名						
専任	准教授	楳村 広美 <令和2年4月>	楳村 広美 <令和2年4月>	楳村 広美 <令和2年4月>				
		大学基礎セミナーⅠ 大学基礎セミナーⅡ アカデミック・ライティング クリテリカル・シンキング プレゼンテーション演習 地域教養ゼミナールA 地域教養ゼミナールB 多文化共生マネジメント 多文化共生教育論 多文化共生教育論研究 多文化共生入門Ⅰ 多文化共生入門Ⅱ 地域協働演習 卒業論文(専門演習Ⅰ) 卒業論文(専門演習Ⅱ) 地域課題解決研究Ⅰ 地域課題解決研究Ⅱ 上級中国語総合 上級中国語表現						
専任	准教授	岡本 弘道 <令和2年4月>	岡本 弘道 <令和2年4月>	岡本 弘道 <令和2年4月>				
		歴史学 大学基礎セミナーⅠ 大学基礎セミナーⅡ アカデミック・ライティング クリテリカル・シンキング プレゼンテーション演習 地域教養ゼミナールA 地域教養ゼミナールB 国際関係史論 東アジア地域史論(東洋史) 東アジア地域史論研究 文化継承入門Ⅰ 文化継承入門Ⅱ 地域協働演習 卒業論文(専門演習Ⅰ) 卒業論文(専門演習Ⅱ) 地域課題解決研究Ⅰ 地域課題解決研究Ⅱ 中級中国語総合 中級中国語表現 外国語検定(中国語)Ⅰ(認定) 外国語検定(中国語)Ⅱ(認定) 外国語検定(中国語)Ⅲ(認定)						
専任	准教授	小川 俊輔 <令和2年4月>	小川 俊輔 <令和2年4月>	小川 俊輔 <令和2年4月>				
		地域社会と言語 大学基礎セミナーⅠ 大学基礎セミナーⅡ アカデミック・ライティング クリテリカル・シンキング プレゼンテーション演習 地域教養ゼミナールA 地域教養ゼミナールB 日本語文化論(日本語学) 日本語文化論研究 多文化共生入門Ⅰ 多文化共生入門Ⅱ 地域協働演習 卒業論文(専門演習Ⅰ) 卒業論文(専門演習Ⅱ) 地域課題解決研究Ⅰ 地域課題解決研究Ⅱ						
専任	准教授	栗原 武士 <令和2年4月>	栗原 武士 <令和2年4月>	栗原 武士 <令和2年4月>				
		英語総合Ⅰ 英語総合Ⅱ 海外研修 大学基礎セミナーⅠ 大学基礎セミナーⅡ アカデミック・ライティング クリテリカル・シンキング プレゼンテーション演習 地域教養ゼミナールA 地域教養ゼミナールB 米国社会文化論 米国社会文化論研究 ティベート・プレゼンテーション 多文化共生入門Ⅰ 多文化共生入門Ⅱ 地域協働演習 卒業論文(専門演習Ⅰ) 卒業論文(専門演習Ⅱ) 地域課題解決研究Ⅰ 地域課題解決研究Ⅱ 上級英語総合(Critical ReadingⅠ) 上級英語総合(Critical ReadingⅡ) 上級英語総合(Gross-Cultural Studies) 上級英語表現(Global CommunicationⅠ) 上級英語表現(Global CommunicationⅡ) 外国語検定(英語)Ⅰ(認定) 外国語検定(英語)Ⅱ(認定) 外国語検定(英語)Ⅲ(認定)						

専任・兼任・兼任の別	氏名 <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	氏名 <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	氏名 <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	氏名 <就任(予定)年月>
職名	担当授業科目名	職名	担当授業科目名	職名	担当授業科目名	職名	担当授業科目名
専任	准教授 小平 直行 <令和2年4月>	専任	准教授 小平 直行 <令和2年4月>	専任	准教授 小平 直行 <令和2年4月>		
	歴史学 大学基礎セミナーⅠ 大学基礎セミナーⅡ アカデミック・ライティング クリティカル・シンキング プレゼンテーション演習 地域教養ゼミナールA 地域教養ゼミナールB 米国史論 米国史論研究 文化継承入門Ⅰ 文化継承入門Ⅱ 地域協働演習 卒業論文(専門演習Ⅰ) 卒業論文(専門演習Ⅱ) 地域課題解決研究Ⅰ 地域課題解決研究Ⅱ		歴史学 大学基礎セミナーⅠ 大学基礎セミナーⅡ アカデミック・ライティング クリティカル・シンキング プレゼンテーション演習 地域教養ゼミナールA 地域教養ゼミナールB 米国史論 米国史論研究 文化継承入門Ⅰ 文化継承入門Ⅱ 地域協働演習 卒業論文(専門演習Ⅰ) 卒業論文(専門演習Ⅱ) 地域課題解決研究Ⅰ 地域課題解決研究Ⅱ		歴史学 大学基礎セミナーⅠ 大学基礎セミナーⅡ アカデミック・ライティング クリティカル・シンキング プレゼンテーション演習 地域教養ゼミナールA 地域教養ゼミナールB 米国史論 米国史論研究 文化継承入門Ⅰ 文化継承入門Ⅱ 地域協働演習 卒業論文(専門演習Ⅰ) 卒業論文(専門演習Ⅱ) 地域課題解決研究Ⅰ 地域課題解決研究Ⅱ		
専任	准教授 鄭 遇澤 <令和2年4月>	専任	准教授 鄭 遇澤 <令和2年4月>	専任	准教授 鄭 遇澤 <令和2年4月>		
	韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ 大学基礎セミナーⅠ 大学基礎セミナーⅡ アカデミック・ライティング クリティカル・シンキング プレゼンテーション演習 地域教養ゼミナールA 地域教養ゼミナールB 韓国語文化論 韓国語文化論研究 ディベート・プレゼンテーション 多文化共生入門Ⅰ 多文化共生入門Ⅱ 地域協働演習 卒業論文(専門演習Ⅰ) 卒業論文(専門演習Ⅱ) 地域課題解決研究Ⅰ 地域課題解決研究Ⅱ 中級韓国語総合 上級韓国語総合 上級韓国語表現 外国語検定(韓国語)Ⅰ(認定) 外国語検定(韓国語)Ⅱ(認定) 外国語検定(韓国語)Ⅲ(認定)		韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ 大学基礎セミナーⅠ 大学基礎セミナーⅡ アカデミック・ライティング クリティカル・シンキング プレゼンテーション演習 地域教養ゼミナールA 地域教養ゼミナールB 韓国語文化論 韓国語文化論研究 ディベート・プレゼンテーション 多文化共生入門Ⅰ 多文化共生入門Ⅱ 地域協働演習 卒業論文(専門演習Ⅰ) 卒業論文(専門演習Ⅱ) 地域課題解決研究Ⅰ 地域課題解決研究Ⅱ 中級韓国語総合 上級韓国語総合 上級韓国語表現 外国語検定(韓国語)Ⅰ(認定) 外国語検定(韓国語)Ⅱ(認定) 外国語検定(韓国語)Ⅲ(認定)		韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ 大学基礎セミナーⅠ 大学基礎セミナーⅡ アカデミック・ライティング クリティカル・シンキング プレゼンテーション演習 地域教養ゼミナールA 地域教養ゼミナールB 韓国語文化論 韓国語文化論研究 ディベート・プレゼンテーション 多文化共生入門Ⅰ 多文化共生入門Ⅱ 地域協働演習 卒業論文(専門演習Ⅰ) 卒業論文(専門演習Ⅱ) 地域課題解決研究Ⅰ 地域課題解決研究Ⅱ 中級韓国語総合 上級韓国語総合 上級韓国語表現 外国語検定(韓国語)Ⅰ(認定) 外国語検定(韓国語)Ⅱ(認定) 外国語検定(韓国語)Ⅲ(認定)		
専任	准教授 高松 亮太 <令和2年4月>						
	大学基礎セミナーⅠ 大学基礎セミナーⅡ アカデミック・ライティング クリティカル・シンキング プレゼンテーション演習 地域教養ゼミナールA 地域教養ゼミナールB 日本文化論 書誌学 日本文化論研究 文化継承入門Ⅰ 文化継承入門Ⅱ 地域協働演習 卒業論文(専門演習Ⅰ) 卒業論文(専門演習Ⅱ) 地域課題解決研究Ⅰ 地域課題解決研究Ⅱ						
専任	准教授 足立 洋 <令和2年4月>	専任	准教授 足立 洋 <令和2年4月>	専任	准教授 足立 洋 <令和2年4月>		
	大学基礎セミナーⅠ 大学基礎セミナーⅡ アカデミック・ライティング クリティカル・シンキング プレゼンテーション演習 地域教養ゼミナールA 地域教養ゼミナールB 会計学概論 簿記原理 工業演習 原価計算論 税務会計論 管理会計論 NPO会計論 地域金融特別講義 地域協働演習 地域課題解決研究Ⅰ 地域課題解決研究Ⅱ 経営学専門演習Ⅰ 経営学専門演習Ⅱ		大学基礎セミナーⅠ 大学基礎セミナーⅡ アカデミック・ライティング クリティカル・シンキング プレゼンテーション演習 地域教養ゼミナールA 地域教養ゼミナールB 会計学概論 簿記原理 工業演習 原価計算論 税務会計論 管理会計論 地域協働演習 地域課題解決研究Ⅰ 地域課題解決研究Ⅱ 経営学専門演習Ⅰ 経営学専門演習Ⅱ		大学基礎セミナーⅠ 大学基礎セミナーⅡ アカデミック・ライティング クリティカル・シンキング プレゼンテーション演習 地域教養ゼミナールA 地域教養ゼミナールB 会計学概論 簿記原理 工業演習 原価計算論 税務会計論 管理会計論 地域協働演習 地域課題解決研究Ⅰ 地域課題解決研究Ⅱ 経営学専門演習Ⅰ 経営学専門演習Ⅱ		
専任	准教授 塚原 一郎義治 <令和2年4月>	専任	准教授 塚原 一郎義治 <令和2年4月>	専任	准教授 塚原 一郎義治 <令和2年4月>		
	大学基礎セミナーⅠ 大学基礎セミナーⅡ アカデミック・ライティング クリティカル・シンキング プレゼンテーション演習 地域教養ゼミナールA 地域教養ゼミナールB 金融論 地域金融論 金融システム論 地域金融特別講義※ 地域協働演習 地域課題解決研究Ⅰ 地域課題解決研究Ⅱ 経営学専門演習Ⅰ 経営学専門演習Ⅱ		大学基礎セミナーⅠ 大学基礎セミナーⅡ アカデミック・ライティング クリティカル・シンキング プレゼンテーション演習 地域教養ゼミナールA 地域教養ゼミナールB 金融論 地域金融論 金融システム論 地域金融特別講義※ 地域協働演習 地域課題解決研究Ⅰ 地域課題解決研究Ⅱ 経営学専門演習Ⅰ 経営学専門演習Ⅱ		大学基礎セミナーⅠ 大学基礎セミナーⅡ アカデミック・ライティング クリティカル・シンキング プレゼンテーション演習 地域教養ゼミナールA 地域教養ゼミナールB 金融論 地域金融論 金融システム論 地域金融特別講義※ 地域協働演習 地域課題解決研究Ⅰ 地域課題解決研究Ⅱ 経営学専門演習Ⅰ 経営学専門演習Ⅱ		

専任・兼任・兼任の別	氏名	職名	氏名		専任・兼任・兼任の別	氏名	職名	氏名		専任・兼任・兼任の別	氏名	職名	氏名	
			<就任(予定)年月>	氏名				<就任(予定)年月>	氏名				<就任(予定)年月>	氏名
		担当授業科目名		担当授業科目名			担当授業科目名		担当授業科目名			担当授業科目名		担当授業科目名
専任	佐々木 宣介	准教授	<令和2年4月>	佐々木 宣介	専任	佐々木 宣介	准教授	<令和2年4月>	佐々木 宣介	専任	佐々木 宣介	准教授	<令和2年4月>	佐々木 宣介
		ICTリテラシーⅠ ICTリテラシーⅡ 大学基礎セミナーⅠ 大学基礎セミナーⅡ アカデミック・ライティング クリティカル・シンキング プレゼンテーション演習 地域教養ゼミナールA 地域教養ゼミナールB 情報セキュリティ 応用プログラミング 情報セキュリティ実験 応用情報研究序論 IoT・AI応用技術 IoTシステム開発プロジェクト演習 AIシステム開発プロジェクト演習 IoT・AI特別講義 地域協働演習 地域課題解決研究Ⅰ 地域課題解決研究Ⅱ 応用情報システム専門演習Ⅰ 応用情報システム専門演習Ⅱ		ICTリテラシーⅠ ICTリテラシーⅡ 大学基礎セミナーⅠ 大学基礎セミナーⅡ アカデミック・ライティング クリティカル・シンキング プレゼンテーション演習 地域教養ゼミナールA 地域教養ゼミナールB 情報セキュリティ 応用プログラミング 情報セキュリティ実験 応用情報研究序論 IoT・AI応用技術 IoTシステム開発プロジェクト演習 AIシステム開発プロジェクト演習 IoT・AI特別講義 地域協働演習 地域課題解決研究Ⅰ 地域課題解決研究Ⅱ 応用情報システム専門演習Ⅰ 応用情報システム専門演習Ⅱ										
専任	重丸 伸二	准教授	<令和2年4月>	重丸 伸二	専任	重丸 伸二	准教授	<令和2年4月>	重丸 伸二	専任	重丸 伸二	准教授	<令和2年4月>	重丸 伸二
		大学基礎セミナーⅠ 大学基礎セミナーⅡ アカデミック・ライティング クリティカル・シンキング プレゼンテーション演習 地域教養ゼミナールA 地域教養ゼミナールB 基礎プログラミング入門 基礎情報活用演習 数値解析 コンピュータシミュレーション 応用情報研究序論 IoT・AI応用技術 IoTシステム開発プロジェクト演習 AIシステム開発プロジェクト演習 IoT・AI特別講義 地域協働演習 地域課題解決研究Ⅰ 地域課題解決研究Ⅱ 応用情報システム専門演習Ⅰ 応用情報システム専門演習Ⅱ		大学基礎セミナーⅠ 大学基礎セミナーⅡ アカデミック・ライティング クリティカル・シンキング プレゼンテーション演習 地域教養ゼミナールA 地域教養ゼミナールB 基礎プログラミング入門 基礎情報活用演習 数値解析 コンピュータシミュレーション 応用情報研究序論 IoT・AI応用技術 IoTシステム開発プロジェクト演習 AIシステム開発プロジェクト演習 IoT・AI特別講義 地域協働演習 地域課題解決研究Ⅰ 地域課題解決研究Ⅱ 応用情報システム専門演習Ⅰ 応用情報システム専門演習Ⅱ										
専任	広谷 大助	准教授	<令和2年4月>	広谷 大助	専任	広谷 大助	准教授	<令和2年4月>	広谷 大助	専任	広谷 大助	准教授	<令和2年4月>	広谷 大助
		地域情報発信論 大学基礎セミナーⅠ 大学基礎セミナーⅡ アカデミック・ライティング クリティカル・シンキング プレゼンテーション演習 地域教養ゼミナールA 地域教養ゼミナールB 経営情報論 サブスクリプションマネジメント マネジメント工学 技術英語講義Ⅰ 応用情報研究序論 IoT・AI応用技術 IoTシステム開発プロジェクト演習 AIシステム開発プロジェクト演習 IoT・AI特別講義 地域協働演習 地域課題解決研究Ⅰ 地域課題解決研究Ⅱ 応用情報システム専門演習Ⅰ 応用情報システム専門演習Ⅱ		地域情報発信論 大学基礎セミナーⅠ 大学基礎セミナーⅡ アカデミック・ライティング クリティカル・シンキング プレゼンテーション演習 地域教養ゼミナールA 地域教養ゼミナールB 経営情報論 サブスクリプションマネジメント マネジメント工学 技術英語講義Ⅰ 応用情報研究序論 IoT・AI応用技術 IoTシステム開発プロジェクト演習 AIシステム開発プロジェクト演習 IoT・AI特別講義 地域協働演習 地域課題解決研究Ⅰ 地域課題解決研究Ⅱ 応用情報システム専門演習Ⅰ 応用情報システム専門演習Ⅱ										
専任	神原 知佐子	准教授	<令和2年4月>	神原 知佐子	専任	神原 知佐子	准教授	<令和2年4月>	神原 知佐子	専任	神原 知佐子	准教授	<令和2年4月>	神原 知佐子
		大学基礎セミナーⅠ 大学基礎セミナーⅡ アカデミック・ライティング クリティカル・シンキング プレゼンテーション演習 地域教養ゼミナールA 地域教養ゼミナールB 臨床栄養学Ⅰ 臨床栄養学Ⅱ 臨床栄養アセスメント 病態別栄養マネジメント 臨床栄養学実習Ⅰ 臨床栄養学実習Ⅱ 臨床栄養臨床実習Ⅰ 臨床栄養臨床実習Ⅱ 臨床栄養臨床実習Ⅲ 総合演習 健康科学総合演習※ 地域協働演習 卒業論文Ⅰ 卒業論文Ⅱ 地域課題解決研究Ⅰ 地域課題解決研究Ⅱ		大学基礎セミナーⅠ 大学基礎セミナーⅡ アカデミック・ライティング クリティカル・シンキング プレゼンテーション演習 地域教養ゼミナールA 地域教養ゼミナールB 臨床栄養学Ⅰ 臨床栄養学Ⅱ 臨床栄養アセスメント 病態別栄養マネジメント 臨床栄養学実習Ⅰ 臨床栄養学実習Ⅱ 臨床栄養臨床実習Ⅰ 臨床栄養臨床実習Ⅱ 臨床栄養臨床実習Ⅲ 総合演習 健康科学総合演習※ 地域協働演習 卒業論文Ⅰ 卒業論文Ⅱ 地域課題解決研究Ⅰ 地域課題解決研究Ⅱ										

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
								工藤 卓司 <令和3年4月>						
								大学基礎セミナーⅠ 大学基礎セミナーⅡ アカデミック・ライティング クリティカル・シンキング プレゼンテーション演習 地域教養ゼミナールA 地域教養ゼミナールB 多文化共生入門Ⅰ 多文化共生入門Ⅱ 中国語文化論 中国語文化論研究 地域協働演習 卒業論文(専門演習Ⅰ) 卒業論文(専門演習Ⅱ) 地域課題解決研究Ⅰ 地域課題解決研究Ⅱ 中級中国語表現 上級中国語表現						
								目黒 将史 <令和3年4月>						
								大学基礎セミナーⅠ 大学基礎セミナーⅡ アカデミック・ライティング クリティカル・シンキング プレゼンテーション演習 地域教養ゼミナールA 地域教養ゼミナールB 文化継承入門Ⅰ 文化継承入門Ⅱ 日本文化論 書誌学 日本文化論研究 地域協働演習 卒業論文(専門演習Ⅰ) 卒業論文(専門演習Ⅱ) 地域課題解決研究Ⅰ 地域課題解決研究Ⅱ						
								鈴木 麻希 <令和3年4月>						
								大学基礎セミナーⅠ 大学基礎セミナーⅡ アカデミック・ライティング クリティカル・シンキング プレゼンテーション演習 地域教養ゼミナールA 地域教養ゼミナールB 地域協働演習 学校実習教育Ⅰ 学校実習教育Ⅱ 教育実習指導(授業教諭) 教育実習(授業教諭) 教職英語演習(授業教諭)						
								吉田 歩 <令和3年4月>						
								大学基礎セミナーⅠ 大学基礎セミナーⅡ アカデミック・ライティング クリティカル・シンキング プレゼンテーション演習 地域教養ゼミナールA 地域教養ゼミナールB 地域協働演習						
兼任	教授	馬本 勉 <令和2年4月>	兼任	教授	馬本 勉 <令和2年4月>	兼任	教授	馬本 勉 <令和2年4月>						
		多文化接触と言語 英語科教育法Ⅰ 英語科教育法Ⅱ			科学史 多文化接触と言語 英語科教育法Ⅰ 英語科教育法Ⅱ			科学史 多文化接触と言語 英語科教育法Ⅰ 英語科教育法Ⅱ						
兼任	教授	門戸 千幸 <令和2年4月>	兼任	教授	門戸 千幸 <令和2年4月>	兼任	教授	門戸 千幸 <令和2年4月>						
		教職実践演習(中・高) 国語科教育法Ⅲ 国語科教育法Ⅳ			教職実践演習(中・高) 国語科教育法Ⅲ 国語科教育法Ⅳ			教職実践演習(中・高) 国語科教育法Ⅲ 国語科教育法Ⅳ						
兼任	教授	坪田 雄二 <令和2年4月>	兼任	教授	坪田 雄二 <令和2年4月>	兼任	教授	坪田 雄二 <令和2年4月>						
		生徒・進路指導論 生徒指導論			生徒・進路指導論 生徒指導論			生徒・進路指導論 生徒指導論						
兼任	教授	安武 繁 <令和2年4月>	兼任	教授	安武 繁 <令和2年4月>	兼任	教授	安武 繁 <令和2年4月>						
		予防医学 保健政策論			予防医学 保健政策論			予防医学 保健政策論						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	入船 浩平 <令和2年4月>	兼任	教授	入船 浩平 <令和2年4月>	兼任	教授	入船 浩平 <令和2年4月>						
		いのちと科学 生物入門演習			生物入門演習			生物入門演習						
兼任	教授	五味 正志 <令和2年4月>												
		いのちと科学												
兼任	教授	原田 淳 <令和2年4月>	兼任	教授	原田 淳 <令和2年4月>	兼任	教授	原田 淳 <令和2年4月>						
		キャリアビジョン(デベロップメント) インターンシップ リーダー論			キャリアビジョン(デベロップメント) インターンシップ リーダー論			キャリアビジョン(デベロップメント) インターンシップ リーダー論						
兼任	教授	原田 浩幸 <令和2年4月>	兼任	教授	原田 浩幸 <令和2年4月>	兼任	教授	原田 浩幸 <令和2年4月>						
		環境と科学			環境と科学			環境と科学						
兼任	教授	日高 陵好 <令和2年4月>	兼任	教授	日高 陵好 <令和2年4月>	兼任	教授	日高 陵好 <令和2年4月>						
		ライフデザイン			ライフデザイン			ライフデザイン						
兼任	教授	古山 千佳子 <令和2年4月>	兼任	教授	古山 千佳子 <令和2年4月>	兼任	教授	古山 千佳子 <令和2年4月>						
		生命倫理			生命倫理			生命倫理						
兼任	教授	三苫 好治 <令和2年4月>	兼任	教授	三苫 好治 <令和2年4月>	兼任	教授	三苫 好治 <令和2年4月>						
		化学入門演習			化学入門演習			化学入門演習						
兼任	准教授	大草 輝政 <令和2年4月>	兼任	准教授	大草 輝政 <令和2年4月>	兼任	准教授	大草 輝政 <令和2年4月>						
		哲学 倫理学			哲学 倫理学			哲学 倫理学						
兼任	准教授	岡田 高嘉 <令和2年4月>	兼任	准教授	岡田 高嘉 <令和2年4月>	兼任	教授	岡田 高嘉 <令和2年4月>						
		日本国憲法 法学 ライフデザイン 人権論 多文化共生社会と法			日本国憲法 法学 ライフデザイン 人権論 多文化共生社会と法			日本国憲法 法学 ライフデザイン 人権論 多文化共生社会と法						
兼任	准教授	上水流 久彦 <令和2年4月>	兼任	教授	上水流 久彦 <令和2年4月>	兼任	教授	上水流 久彦 <令和2年4月>						
		文化人類学 国際社会の理解 世界の宗教 中国社会文化論 中国社会文化論研究			文化人類学 国際社会の理解 世界の宗教 中国社会文化論 中国社会文化論研究			中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 文化人類学 国際社会の理解 世界の宗教 中国社会文化論 中国社会文化論研究						
兼任	准教授	河村 和也 <令和2年4月>	兼任	准教授	河村 和也 <令和2年4月>	兼任	准教授	河村 和也 <令和2年4月>						
		世界の言語と文化			世界の言語と文化			世界の言語と文化						
兼任	准教授	崎田 省吾 <令和2年4月>				兼任	講師	崎田 省吾 <令和3年4月>						
		生活に役立つ力学 物理入門演習						科学史						
兼任	准教授	内藤 佳奈子 <令和2年4月>	兼任	准教授	内藤 佳奈子 <令和2年4月>	兼任	准教授	内藤 佳奈子 <令和2年4月>						
		環境と科学			環境と科学			環境と科学						
兼任	准教授	長尾 則男 <令和2年4月>	兼任	准教授	長尾 則男 <令和2年4月>	兼任	准教授	長尾 則男 <令和2年4月>						
		食と健康 いのちと科学			科学史 食と健康			科学史 食と健康						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	藤井 宣彰 <令和2年4月>	兼任	准教授	藤井 宣彰 <令和2年4月>	兼任	准教授	藤井 宣彰 <令和2年4月>						
		地域情報発信論 教育学概論 教育社会学			地域情報発信論 教育学概論 教育社会学			地域情報発信論 教育学概論 教育社会学						
兼任	准教授	村田 和賀代 <令和2年4月>	兼任	准教授	村田 和賀代 <令和2年4月>	兼任	准教授	村田 和賀代 <令和2年4月>						
		科学史			科学史			科学史						
兼任	准教授	吉川 ひろみ <令和2年4月>	兼任	准教授	吉川 ひろみ <令和2年4月>	兼任	教授	吉川 ひろみ <令和2年4月>						
		生命倫理			生命倫理			生命倫理						
兼任	准教授	安藤 由典 <令和2年4月>	兼任	准教授	安藤 由典 <令和2年4月>	兼任	准教授	安藤 由典 <令和2年4月>						
		知的財産権関連講座			知的財産権関連講座			知的財産権関連講座						
兼任	准教授	澤田 千恵 <令和2年4月>	兼任	准教授	澤田 千恵 <令和2年4月>	兼任	准教授	澤田 千恵 <令和2年4月>						
		社会学 家族社会学 多様性理解(ジェンダー論) 自然地理学 人口社会学 人口社会学研究			社会学 家族社会学 多様性理解(ジェンダー論)			社会学 家族社会学 多様性理解(ジェンダー論)						
兼任	准教授	粥川 準二 <令和2年4月>	兼任	准教授	粥川 準二 <令和2年4月>									
		社会調査論			社会調査論									
兼任	准教授	加藤 洋司 <令和2年4月>												
		いのちと科学												
兼任	准教授	高橋 陽二 <令和2年4月>	兼任	准教授	高橋 陽二 <令和2年4月>	兼任	准教授	高橋 陽二 <令和2年4月>						
		経済学			経済学			経済学						
兼任	准教授	岩田 貴樹 <令和2年4月>	兼任	准教授	岩田 貴樹 <令和2年4月>	兼任	准教授	岩田 貴樹 <令和2年4月>						
		数学入門演習			科学史 数学入門演習			科学史 数学入門演習						
兼任	准教授	五條 小枝子 <令和2年4月>		兼任 講師	五條 小枝子 <令和2年4月>		兼任 講師	五條 小枝子 <令和2年4月>						
		国語入門演習 社会入門演習			国語入門演習 社会入門演習			地域情報発信論 国語入門演習 社会入門演習						
兼任	特命講師	大知 徳子 <令和2年4月>	兼任	特命講師	大知 徳子 <令和2年4月>	兼任	特命講師	大知 徳子 <令和2年4月>						
		ひろしま理解 宮島学 宮島観光学(英語) 宮島フィールドワーク 博物館展示論 博物館資料保存論 博物館実習			ひろしま理解 宮島学 宮島観光学(英語) 博物館展示論 博物館資料保存論 博物館実習			ひろしま理解 宮島学 宮島観光学(英語) 博物館展示論 博物館資料保存論 博物館実習						
兼任	助教	中石 ゆうこ <令和2年4月>	兼任	准教授	中石 ゆうこ <令和2年4月>	兼任	准教授	中石 ゆうこ <令和2年4月>						
		アカデミック日本語Ⅰ アカデミック日本語Ⅱ 日本語教育学 日本語教授法 日本語・日本事情 日本語教育実習			アカデミック日本語Ⅰ アカデミック日本語Ⅱ 日本語教育学 日本語教授法 日本語・日本事情 日本語教育実習			アカデミック日本語Ⅰ アカデミック日本語Ⅱ 日本語教育学 日本語教授法 日本語・日本事情 日本語教育実習						
兼任	講師	手島 洋 <令和2年4月>	兼任	講師	手島 洋 <令和2年4月>	兼任	講師	手島 洋 <令和2年4月>						
		ボランティア			ボランティア			ボランティア						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	吉田 倫子 <令和2年4月>	兼任	講師	吉田 倫子 <令和2年4月>	兼任	講師	吉田 倫子 <令和2年4月>						
		地域情報発信論			地域情報発信論			地域情報発信論						
			兼任	教授	伊藤 隆雄 <令和2年4月>									
					生活に役立つ力学									
			兼任	教授	金井 秀作 <令和2年4月>									
					生活に役立つ力学									
			兼任	教授	福永 健二 <令和2年4月>			福永 健二 <令和2年4月>						
					科学史			科学史						
			兼任	教授	八木 俊樹 <令和2年4月>			八木 俊樹 <令和2年4月>						
					科学史			科学史						
			兼任	准教授	小林 謙介 <令和2年4月>			小林 謙介 <令和2年4月>						
					科学史			科学史						
			兼任	准教授	菅 裕 <令和2年4月>			菅 裕 <令和2年4月>						
					科学史			科学史						
			兼任	准教授	西川 洋行 <令和2年4月>									
					生活に役立つ力学									
			兼任	准教授	船津 誠也 <令和2年4月>			船津 誠也 <令和2年4月>						
					ICTリテラシーⅠ ICTリテラシーⅡ			ICTリテラシーⅠ ICTリテラシーⅡ						
			兼任	准教授	吉野 智之 <令和2年4月>			吉野 智之 <令和2年4月>						
					科学史			科学史						
			兼任	助教	松崎 秀紀 <令和2年4月>			松崎 秀紀 <令和2年4月>						
					科学史			科学史						
兼任	講師	伊藤 圭子 <令和2年4月>	兼任	講師	伊藤 圭子 <令和2年4月>	兼任	講師	伊藤 圭子 <令和2年4月>						
		病態別栄養マネジメント			病態別栄養マネジメント			病態別栄養マネジメント						
兼任	講師	魚谷 滋己 <令和2年4月>	兼任	講師	魚谷 滋己 <令和2年4月>	兼任	講師	魚谷 滋己 <令和2年4月>						
		リーダー論 技術マネジメント論			リーダー論 技術マネジメント論			リーダー論 技術マネジメント論						
兼任	講師	ウルシュラ スティチェック <令和2年4月>	兼任	講師	ウルシュラ スティチェック <令和2年4月>	兼任	講師	ウルシュラ スティチェック <令和2年4月>						
		英語表現Ⅰ 英語表現Ⅱ 英語表現Ⅲ 英語表現Ⅳ			英語表現Ⅲ 英語表現Ⅳ			英語表現Ⅲ 英語表現Ⅳ						
兼任	講師	表業 <令和2年4月>	兼任	講師	表業 <令和2年4月>	兼任	講師	表業 <令和2年4月>						
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ			中国語Ⅰ 中国語Ⅱ			中国語Ⅰ 中国語Ⅱ						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	小田 智敏 <令和2年4月>	兼任	講師	小田 智敏 <令和2年4月>	兼任	講師	小田 智敏 <令和2年4月>						
		ドイツ語 I ドイツ語 II			ドイツ語 I ドイツ語 II			ドイツ語 I ドイツ語 II						
兼任	講師	笠本 晃代 <令和2年4月>	兼任	講師	笠本 晃代 <令和2年4月>	兼任	講師	笠本 晃代 <令和2年4月>						
		英語総合 I 英語総合 II 英語総合 III 英語総合 IV 英語入門演習			英語総合 III 英語総合 IV 英語入門演習			英語総合 I 英語総合 II 英語総合 III 英語入門演習						
兼任	講師	金 根五 <令和2年4月>				兼任	講師	金 根五 <令和3年4月>						
		韓国語 I 韓国語 II						韓国語 I 韓国語 II						
兼任	講師	熊谷 陽子 <令和2年4月>	兼任	講師	熊谷 陽子 <令和2年4月>	兼任	講師	熊谷 陽子 <令和2年4月>						
		総合演習 学校栄養教育論 I 学校栄養教育論 II 教育実習指導 (栄養教諭) 教育実習 (栄養教諭) 教職実践演習 (栄養教諭)			総合演習 学校栄養教育論 I 学校栄養教育論 II 教育実習指導 (栄養教諭) 教育実習 (栄養教諭) 教職実践演習 (栄養教諭)			総合演習 学校栄養教育論 I 学校栄養教育論 II 教育実習指導 (栄養教諭) 教育実習 (栄養教諭) 教職実践演習 (栄養教諭)						
兼任	講師	黒住 奏 <令和2年4月>	兼任	講師	黒住 奏 <令和2年4月>									
		英語総合 I 英語総合 II 英語総合 III 英語総合 IV			英語総合 I 英語総合 II 英語総合 III 英語総合 IV									
兼任	講師	徐 亜文 <令和2年4月>				兼任	講師	徐 亜文 <令和3年4月>						
		中国語 I 中国語 II						中国語 I 中国語 II 中日対照言語学						
兼任	講師	竹本 康彦 <令和2年4月>												
		データ構造とアルゴリズム データマイニング												
兼任	講師	津坂 貢政 <令和2年4月>	兼任	講師	津坂 貢政 <令和2年4月>									
		中国語 I 中国語 II			中国語 I 中国語 II									
兼任	講師	中谷 隆 <令和2年4月>	兼任	講師	中谷 隆 <令和2年4月>	兼任	講師	中谷 隆 <令和2年4月>						
		人間関係論			人間関係論			人間関係論						
兼任	講師	西手 満昭 <令和2年4月>	兼任	講師	西手 満昭 <令和2年4月>	兼任	講師	西手 満昭 <令和2年4月>						
		ミクロ経済学			ミクロ経済学			ミクロ経済学						
兼任	講師	ジェフリー・ノーリン <令和2年4月>	兼任	講師	ジェフリー・ノーリン <令和2年4月>									
		英語表現 I 英語表現 II 英語表現 III 英語表現 IV			英語表現 III 英語表現 IV									
兼任	講師	名波 彰子 <令和2年4月>	兼任	講師	名波 彰子 <令和2年4月>	兼任	講師	名波 彰子 <令和2年4月>						
		NPO論			NPO論			NPO論						
兼任	講師	森永 力 <令和2年4月>												
		微生物学												
兼任	講師	森久 瞳 <令和2年4月>	兼任	講師	森久 瞳 <令和2年4月>	兼任	講師	森久 瞳 <令和2年4月>						
		給食経営管理実習			調理科学実験 給食経営管理実習			調理科学実験 給食経営管理実習						
兼任	講師	柳生 一成 <令和2年4月>	兼任	講師	柳生 一成 <令和2年4月>	兼任	講師	柳生 一成 <令和2年4月>						
		国際法			国際法			国際法						

専任・兼任・兼任の別	氏名 <就任(予定)年月>	氏名 <就任(予定)年月>	氏名 <就任(予定)年月>	氏名 <就任(予定)年月>	
職名	職名	職名	職名	職名	
担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名	
兼任 講師	山中 祐子 <令和2年4月>	山中 祐子 <令和2年4月>	山中 祐子 <令和2年4月>		
	英語総合Ⅰ 英語総合Ⅱ 英語総合Ⅲ 英語総合Ⅳ		英語総合Ⅰ 英語総合Ⅱ 英語総合Ⅲ 英語総合Ⅳ		
兼任 講師	児玉 富美恵 <令和2年4月>	児玉 富美恵 <令和2年4月>	児玉 富美恵 <令和2年4月>		
	英語総合Ⅰ 英語総合Ⅱ 英語総合Ⅲ 英語総合Ⅳ		英語総合Ⅲ 英語総合Ⅳ メディア・イングリッシュ		
兼任 講師	秋山 伸隆 <令和2年4月>	秋山 伸隆 <令和2年4月>	秋山 伸隆 <令和2年4月>		
	文化継承入門Ⅰ 文化継承入門Ⅱ 日本地域史論(日本史) 日本地域史論研究 博物館資料論 博物館教育論		文化継承入門Ⅰ 文化継承入門Ⅱ 日本地域史論 日本地域史論研究 博物館資料論 博物館教育論		
兼任 講師	天野 かおり <令和2年4月>	天野 かおり <令和2年4月>	天野 かおり <令和2年4月>		
	生涯学習概論		生涯学習概論		
兼任 講師	天野 純子 <令和2年4月>	天野 純子 <令和2年4月>	天野 純子 <令和2年4月>		
	病態別栄養マネジメント		病態別栄養マネジメント		
兼任 講師	井内 太郎 <令和2年4月>	井内 太郎 <令和2年4月>	井内 太郎 <令和2年4月>		
	英国史論		英国史論		
兼任 講師	岩井 千秋 <令和2年4月>	岩井 千秋 <令和2年4月>			
	英語総合Ⅰ 英語総合Ⅱ 英語総合Ⅲ 英語総合Ⅳ 英語コミュニケーション		英語総合Ⅲ 英語総合Ⅳ 英語コミュニケーション		
兼任 講師	大東和 武司 <令和2年4月>	大東和 武司 <令和2年4月>	大東和 武司 <令和2年4月>		
	経営史		経営史		
兼任 講師	大橋 隆広 <令和2年4月>	大橋 隆広 <令和2年4月>	大橋 隆広 <令和2年4月>		
	教育課程論 総合的な学習の時間の指導法		教育課程論 総合的な学習の時間の指導法		
兼任 講師	河合 伸治 <令和2年4月>	河合 伸治 <令和2年4月>			
	マクロ経済学 パブリックファイナンス論		マクロ経済学 パブリックファイナンス論		
兼任 講師	川原 直毅 <令和2年4月>	川原 直毅 <令和2年4月>	川原 直毅 <令和2年4月>		
	マーケティングリサーチ		マーケティングリサーチ		
兼任 講師	候 仁峰 <令和2年4月>	候 仁峰 <令和2年4月>			
	多文化共生入門Ⅰ 多文化共生入門Ⅱ 中国語文化論 中国語文化論研究 中日対照言語学 中国語文化論研究 ディベート・プレゼンテーション 中級中国語総合 上級中国語総合 中級中国語表現 上級中国語表現 外国語検定(中国語)Ⅰ(認定) 外国語検定(中国語)Ⅱ(認定) 外国語検定(中国語)Ⅲ(認定)		多文化共生入門Ⅰ 多文化共生入門Ⅱ 中国語文化論 中国語文化論研究 中日対照言語学 中国語文化論研究 ディベート・プレゼンテーション 中級中国語総合 中級中国語表現 上級中国語表現 外国語検定(中国語)Ⅰ(認定) 外国語検定(中国語)Ⅱ(認定) 外国語検定(中国語)Ⅲ(認定)		
兼任 講師	酒川 茂 <令和2年4月>	酒川 茂 <令和2年4月>	酒川 茂 <令和2年4月>		
	地誌学 人文地理学 日本地域論 日本地域論研究		地誌学 人文地理学 日本地域論 日本地域論研究		

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>	氏名 <就任(予定)年月>	氏名 <就任(予定)年月>	氏名 <就任(予定)年月>	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
兼任	講師	式部 信 <令和2年4月>	式部 信 <令和2年4月>	式部 信 <令和2年4月>		
		国際経済論	国際経済論	国際経済論		
兼任	講師	鈴木 喜久 <令和2年4月>	鈴木 喜久 <令和2年4月>	鈴木 喜久 <令和2年4月>		
		証券論	証券論	証券論		
兼任	講師	高永 茂 <令和2年4月>	高永 茂 <令和2年4月>	高永 茂 <令和2年4月>		
		日本語音声学	日本語音声学	日本語音声学		
兼任	講師	D チャップマン <令和2年4月>	D チャップマン <令和2年4月>	D チャップマン <令和2年4月>		
		英語表現 I 英語表現 II 英語表現 III 英語表現 IV	英語表現 I 英語表現 II 英語表現 III 英語表現 IV	英語表現 I 英語表現 II		
兼任	講師	高橋 渡 <令和2年4月>	高橋 渡 <令和2年4月>	高橋 渡 <令和2年4月>		
		文化継承入門 I 文化継承入門 II 英語文学論 英語文学論研究	文化継承入門 I 文化継承入門 II 英語文学論 英語文学論研究	英語文学論 英語文学論研究		
兼任	講師	田中 純子 <令和2年4月>	田中 純子 <令和2年4月>	田中 純子 <令和2年4月>		
		公衆衛生学 環境衛生学	公衆衛生学 環境衛生学	公衆衛生学 環境衛生学		
兼任	講師	谷口 直隆 <令和2年4月>	谷口 直隆 <令和2年4月>	谷口 直隆 <令和2年4月>		
		国語科教育法 I 国語科教育法 II	国語科教育法 I 国語科教育法 II	国語科教育法 I 国語科教育法 II		
兼任	講師	多山 賢二 <令和2年4月>	多山 賢二 <令和2年4月>	多山 賢二 <令和2年4月>		
		食品衛生学	微生物学 食品衛生学	微生物学		
兼任	講師	中村 勝美 <令和2年4月>	中村 勝美 <令和2年4月>	中村 勝美 <令和2年4月>		
		教職入門	教職入門	教職入門		
兼任	講師	西原 貴之 <令和2年4月>	西原 貴之 <令和2年4月>	西原 貴之 <令和2年4月>		
		英語学 英文法 英語学研究	英語学 英文法 英語学研究	英語総合 III 英語総合 IV		
兼任	講師	原 理 <令和2年4月>	原 理 <令和2年4月>	原 理 <令和2年4月>		
		政治学 国際政治論	政治学 国際政治論	政治学 国際政治論		
兼任	講師	原 紀斗美 <令和2年4月>	村上 紀斗美 <令和2年4月>	村上 紀斗美 <令和2年4月>		
		スポーツ実技 I	スポーツ実技 I	スポーツ実技 I		
兼任	講師	平田 香奈子 <令和2年4月>	平田 香奈子 <令和2年4月>	平田 香奈子 <令和2年4月>		
		特別支援教育	特別支援教育	特別支援教育		
兼任	講師	深澤 悦子 <令和2年4月>	深澤 悦子 <令和2年4月>	深澤 悦子 <令和2年4月>		
		教育方法学	教育方法学	教育方法学		
兼任	講師	福元 広二 <令和2年4月>	福元 広二 <令和2年4月>	福元 広二 <令和2年4月>		
		メディア・イングリッシュ 検定英語演習	メディア・イングリッシュ 検定英語演習	検定英語演習		

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	藤田 健一 <令和2年4月>	兼任	講師	藤田 健一 <令和2年4月>	兼任	講師	藤田 健一 <令和2年4月>						
		基礎化学 分析化学 分析化学実験			基礎化学 分析化学 分析化学実験			基礎化学 分析化学						
兼任	講師	船田 善之 <令和2年4月>	兼任	講師	船田 善之 <令和2年4月>	兼任	講師	船田 善之 <令和2年4月>						
		東アジア交流史論			東アジア交流史論			東アジア交流史論						
兼任	講師	松原 正至 <令和2年4月>	兼任	講師	松原 正至 <令和2年4月>	兼任	講師	松原 正至 <令和2年4月>						
		経営法務 企業法			経営法務 企業法			経営法務 企業法						
兼任	講師	宮里 智恵 <令和2年4月>	兼任	講師	宮里 智恵 <令和2年4月>	兼任	講師	宮里 智恵 <令和2年4月>						
		道徳教育論			道徳教育論			道徳教育論						
兼任	講師	森 哲之 <令和2年4月>	兼任	講師	森 哲之 <令和2年4月>	兼任	講師	森 哲之 <令和2年4月>						
		書道・書写			書道・書写			書道・書写						
兼任	講師	森田 裕司 <令和2年4月>	兼任	講師	森田 裕司 <令和2年4月>	兼任	講師	森田 裕司 <令和2年4月>						
		教育相談			教育相談			教育相談						
兼任	講師	山岡 大基 <令和2年4月>	兼任	講師	山岡 大基 <令和2年4月>	兼任	講師	山岡 大基 <令和2年4月>						
		英語科教育法Ⅲ 英語科教育法Ⅳ			英語科教育法Ⅲ 英語科教育法Ⅳ			英語科教育法Ⅲ 英語科教育法Ⅳ						
兼任	講師	山田 浩之 <令和2年4月>	兼任	講師	山田 浩之 <令和2年4月>	兼任	講師	山田 浩之 <令和2年4月>						
		特別活動論			特別活動論			特別活動論						
兼任	講師	波多野 五三 <令和2年4月>	兼任	講師	波多野 五三 <令和2年4月>									
		英語総合Ⅰ 英語総合Ⅱ 英語総合Ⅲ 英語総合Ⅳ			英語総合Ⅲ 英語総合Ⅳ									
兼任	講師	D モーシャール <令和2年4月>	兼任	講師	D モーシャール <令和2年4月>									
		英語表現Ⅰ 英語表現Ⅱ 英語表現Ⅲ 英語表現Ⅳ			英語表現Ⅲ 英語表現Ⅳ									
兼任	講師	D リー <令和2年4月>	兼任	講師	D リー <令和2年4月>	兼任	講師	D リー <令和2年4月>						
		英語表現Ⅰ 英語表現Ⅱ 英語表現Ⅲ 英語表現Ⅳ			英語表現Ⅰ 英語表現Ⅱ 英語表現Ⅲ 英語表現Ⅳ			英語表現Ⅰ 英語表現Ⅱ						
兼任	講師	K カゼミ <令和2年4月>	兼任	講師	K カゼミ <令和2年4月>	兼任	講師	K カゼミ <令和2年4月>						
		英語表現Ⅰ 英語表現Ⅱ 英語表現Ⅲ 英語表現Ⅳ			英語表現Ⅰ 英語表現Ⅱ 英語表現Ⅲ 英語表現Ⅳ			英語表現Ⅰ 英語表現Ⅱ 英語表現Ⅳ						
			兼任	講師	吉野 浩生 <令和2年4月>	兼任	講師	吉野 浩生 <令和2年4月>						
					物理入門演習			物理入門演習						
			兼任	講師	薄田 結基 <令和2年4月>	兼任	講師	薄田 結基 <令和2年4月>						
					自然地理学			自然地理学						
			兼任	講師	中島 満大 <令和2年4月>	兼任	講師	中島 満大 <令和2年4月>						
					人口社会論 人口社会論研究			人口社会論 人口社会論研究						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	ホーゾン 寿泉 <令和3年4月>			英語総合Ⅰ 英語総合Ⅱ 英語総合Ⅳ									
兼任	講師	P.ポールドウィン <令和3年4月>			英語表現Ⅲ 英語表現Ⅳ									
兼任	講師	山田 憲嗣 <令和3年4月>			生活に役立つ力学									
兼任	講師	中條 和光 <令和3年4月> 博士(心理学)			生徒・進路指導論									
兼任	講師	新宅 公志 <令和3年4月>			マクロ経済学 パブリックファイナンス論									
兼任	講師	百原 俊朗 <令和3年4月>			社会調査論									
兼任	講師	松本 晋 <令和3年4月>			調理科学実験									
兼任	講師	嵐次 康弘 <令和3年4月>			臨床栄養教育論									

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和2年度】

【職位の昇格】

- ・植村広美が昇任人事により、専任准教授→専任教授へ変更。
- ・中石ゆうこが昇任人事により、兼任助教→兼任准教授へ変更。
- 【退職等による専任教員の就任辞退及び科目の後任担当者への科目の変更及び追加等】
- 高松亮太専任准教授 届出書提出後、急遽、他大学への移籍が決定したため、就任を辞退。
- 学科専任教員全員が後任を担う科目
- 「大学基礎セミナーⅠ」「大学基礎セミナーⅡ」「アカデミック・ライティング」「クリティカル・シンキング」「プレゼンテーション演習」「地域教養ゼミナールA」「地域教養ゼミナールB」「地域協働演習」「地域課題解決研究Ⅰ」「地域課題解決研究Ⅱ」
- 文化継承コア・ユニットの専門科目を担当する専任教員全員が後任を担う科目
- 「文化継承入門Ⅰ」
- 「文化継承入門Ⅱ」
- 地域文化コースの専門科目を担当する専任教員全員が後任を担う科目
- 「卒業論文(専門演習Ⅰ)」
- 「卒業論文(専門演習Ⅱ)」
- 急遽の退職に伴い、令和2年5月1日時点で後任未定の科目。※開講までに後任の専任教員を決定する。
- 「日本文化論」
- 「書誌学」
- 「日本文化論研究」

○馬淵良太専任助教 届出書提出後、本学他学科准教授として移籍が決定したため、本学科専任教員就任を辞退。後任は以下のとおり。

- ・学科専任教員全員が後任を担う科目
- 「大学基礎セミナーⅠ」「大学基礎セミナーⅡ」「アカデミック・ライティング」「クリティカル・シンキング」「プレゼンテーション演習」「地域教養ゼミナールA」「地域教養ゼミナールB」「地域協働演習」

【専任教員の新規採用による変更】

- 新規採用の陳金輝が令和2年4月に本学科の専任准教授として就任し、以下科目を担当する。
- 「大学基礎セミナーⅠ」「大学基礎セミナーⅡ」「アカデミック・ライティング」「クリティカル・シンキング」「プレゼンテーション演習」「地域教養ゼミナールA」「地域教養ゼミナールB」「応用情報研究序論」「データ構造とアルゴリズム」「IoT・AI応用技術」「データマイニング」「地域協働演習」「地域課題解決研究Ⅰ」「地域課題解決研究Ⅱ」「応用情報システム専門演習Ⅰ」「応用情報システム専門演習Ⅱ」「IoTシステム開発プロジェクト演習」「AIシステム開発プロジェクト演習」「IoT・AI特別講義」
- 新規採用の加納慶太が令和2年4月に本学科の専任講師として就任し、以下科目を担当する。
- 「大学基礎セミナーⅠ」「大学基礎セミナーⅡ」「アカデミック・ライティング」「クリティカル・シンキング」「プレゼンテーション演習」「地域教養ゼミナールA」「地域教養ゼミナールB」「会計学概論」「簿記原理」「中級簿記」「税務会計」「地域協働演習」「地域課題解決研究Ⅰ」「地域課題解決研究Ⅱ」「経営学専門演習Ⅰ」「経営学専門演習Ⅱ」
- 足立洋専任准教授の担当から「会計学概論」「簿記原理」を削除する。
- 後任は新規採用の加納慶太専任講師が担当する。
- 橋上徹専任准教授の担当から「中級簿記」を削除する。
- 後任は新規採用の加納慶太専任講師が担当する。
- 竹本康彦兼任講師の担当科目から「データ構造とアルゴリズム」「データマイニング」を削除。
- 後任は新規採用の陳金輝専任准教授が担当する。

【兼任教員の就任辞退及び科目の後任担当者への科目の変更及び追加等】

- 嶋田吉兼准教授が急遽の退職により就任を辞退。後任は以下のとおり。
- 「生活に役立つ力学」は西川洋行兼任准教授、金井秀作兼任准教授、伊集院隆雄兼任准教授の3名が後任として科目を担当する。
- 「物理学入門演習」は吉野浩生兼任講師が後任として科目を担当する。

【教育内容充実のための担当者の見直しに伴う変更】

- 小川に専任教授の担当科目から「ICTリテラシーⅠ」「ICTリテラシーⅡ」を削除。
- 後任の船津誠也兼任准教授と再業責任教授、陳春祥専任教授、重安哲也専任教授、岡部正幸専任准教授、佐々木宣介専任准教授が担うため、教育上の支障はない。

- 栗原武士専任准教授の担当科目から「英語総合Ⅰ」「英語総合Ⅱ」を削除。
- 天野みゆき専任教授（令和4年3月末予定退職予定）の担当科目から「英語総合Ⅱ」「上級英語総合(Critical ReadingⅠ)」「上級英語総合(Critical ReadingⅡ)」を削除。
- 船津晶代専任教授、吉本和弘専任教授の担当科目に「英語総合Ⅱ」を追加する。
- 岩井千秋兼任講師、児玉富美兼任講師、波多野五三兼任講師、宮本晃代兼任講師の担当科目から「英語総合Ⅰ」「英語総合Ⅱ」を削除。

- 「英語総合Ⅰ」は天野みゆき専任教授（令和4年3月末予定退職予定）、黒住奏兼任講師、山中祐子兼任講師が、「英語総合Ⅱ」は船津晶代専任教授、吉本和弘専任教授、黒住奏兼任講師、山中祐子兼任講師が引き続き科目を担当するため、教育上の支障はない。
- ステューブ・ルイス・ローゼン専任教授、ウルシュラ・スティエック兼任講師、ジェフリー・ノーリン兼任講師、Dモーシャール兼任講師の担当科目から「英語表現Ⅰ」「英語表現Ⅱ」を削除。
- 「英語表現Ⅰ」「英語表現Ⅱ」は中チャップマン兼任講師、Dリー兼任講師、Kカゼミ兼任講師が引き続き科目を担当するため、教育上の支障はない。
- 徐亜文兼任講師の担当科目から「中国語Ⅰ」「中国語Ⅱ」を削除。

- 「中国語Ⅰ」「中国語Ⅱ」は葉葉兼任講師、津坂真政兼任講師が引き続き科目を担当するため、教育上の支障はない。
- 金根五兼兼任講師の担当科目から「韓国語Ⅰ」「韓国語Ⅱ」を削除。
- 「韓国語Ⅰ」「韓国語Ⅱ」は鄭銀志専任教授、鄭暹澤専任准教授が引き続き科目を担当するため、教育上の支障はない。

- 岡本弘道専任准教授の担当科目から「歴史学」を削除。
- 小平直行専任准教授が引き続き科目を担当するため、教育上の支障はない。
- 入船兼助教、互田兼助教、長尾兼助教、加藤洋司兼助教の担当科目から「いのちと科学」を削除。
- 北台靖彦専任教授、岡田猛也専任助教の2名で担当することとする。授業内容、授業責任体制等は引き続き専任教員が担うため、教育上の支障はない。
- 森永力兼任講師の担当科目から「微生物学」を削除。
- 多山賢二兼任講師を後任することとする。教育上の支障はない。

- 鄭銀志専任教授の担当科目から「中級韓国語総合」「上級韓国語総合」を削除。鄭暹澤専任准教授が引き続き科目を担当するため、教育上の支障はない。
- 鄭暹澤専任准教授の担当科目から「中級韓国語表現」「上級韓国語表現」を削除。鄭銀志専任教授が引き続き科目を担当するため、教育上の支障はない。
- ステューブ・ルイス・ローゼン専任教授の担当科目から「上級英語総合(Critical ReadingⅠ)」「上級英語総合(Critical ReadingⅡ)」「上級英語表現(Global CommunicationⅠ)」を削除。

- いずれの科目も授業内容、授業責任体制等は引き続き専任教員が担うため、教育上の支障はない。
- 船津晶代専任教授の担当科目から、「上級英語総合(Critical ReadingⅠ)」「上級英語総合(Critical ReadingⅡ)」「上級英語表現(Global CommunicationⅠ)」「上級英語表現(Global CommunicationⅡ)」を削除。
- いずれの科目も授業内容、授業責任体制等は引き続き専任教員が担うため、教育上の支障はない。
- 栗原武士専任准教授の担当科目から「上級英語総合(Critical ReadingⅠ)」「上級英語表現(Global CommunicationⅡ)」を削除する。
- いずれの科目も授業内容、授業責任体制等は引き続き専任教員が担うため、教育上の支障はない。
- 矢澤利弘専任教授の担当科目から「地域産業特別講義」を削除。

- 引き続き村唯心専任教授、平野美専任教授、葉島浩二専任教授、小原久美子専任教授の4名が引き続き担当するため、教育上の支障はない。
- 足立洋専任教授、橋上徹専任教授の担当科目から「地域金融特別講義」を削除。
- 後任の矢澤利弘専任教授と、村上恵子専任教授、塚原一郎義治専任准教授が科目を担当するため、教育上の支障はない。

- 「教育内容充実のための担当科目の追加」
- 船津誠也兼任准教授に「ICTリテラシーⅠ」「ICTリテラシーⅡ」を追加。
- 福永健二兼任教授、八木俊樹兼任教授、菅裕兼助教、小林謙介兼任助教、馬本勉兼任教授、岩田貴樹兼任教授、吉野浩生兼任講師に「科学史」を追加。
- 西本宗子兼任教授、柳川順子兼任教授に「文学」を追加。
- 市村匠専任教授に「知的財産権関連講座」を追加。
- 森久隆兼任講師に「調理科学実験」を追加。
- 中島満大兼任講師に「人口社会学」「人口社会学論研究」を追加。

- 「誤記の修正」
- 五條小枝子兼任教授について誤記のため、兼任講師に変更する。
- 澤田千恵兼任講師の担当科目「自然地理学」誤記のため、澤田結兼任講師へ担当者変更する。

- 【届出時における平成3年学位規則改正を踏まえた学位の表記の訂正】
- ・「5教員組織の状況(1) - ①担当教員表」とおり48名訂正。

【令和3年度】

【職位の昇格】
 ・ 飯島秀明専任助教が昇任人事により、専任助教一専任准教授へ変更し、以下の科目を追加で担当する。
 「健康科学情報処理」「健康スポーツ科学」「運動生理学」「運動生理学実験」「スポーツ医学」「地域協働演習」「卒業論文Ⅰ」「卒業論文Ⅱ」「地域課題解決研究Ⅰ」「地域課題解決研究Ⅱ」

【定年等による専任教員の退職及び科目の後任担当者への科目の変更及び追加等】
 ○ 船津晶代専任教授は定年により、退職することが決定したため、専任教授一兼任講師へ変更。担当科目は以下のとおり対応する。
 ・ 「英語総合Ⅲ」「英語音声学」「外国語検定(英語Ⅰ)(認定)」「外国語検定(英語Ⅱ)(認定)」「外国語検定(英語Ⅲ)(認定)」は兼任講師として引き続き担当する。
 ・ 「上級英語表現(Global CommunicationⅡ)」を新たに担当する科目として追加する。
 ○ 「大学基礎セミナーⅠ」「大学基礎セミナーⅡ」「アカデミック・ライティング」「クリティカル・シンキング」「プレゼンテーション演習」「地域教養ゼミナールA」「地域教養ゼミナールB」は学科専任教員全員が後任を担うこととなり、教育上の支障はない。
 ・ 「多文化共生入門Ⅰ」「多文化共生入門Ⅱ」は多文化共生コア・ユニットの専門科目を担当する専任教員全員が後任を担うこととなり、教育上の支障はない。
 ・ 「英語総合Ⅱ」は吉本和弘専任教授、笠本晃代兼任講師、山中祐子兼任講師、ホーンソノ寿兼兼任講師が後任を担うこととなり、教育上の支障はない。
 ○ 福嶋良之専任教授は定年により、退職することが決定した。後任は以下のとおり。
 ・ 「大学基礎セミナーⅠ」「大学基礎セミナーⅡ」「アカデミック・ライティング」「クリティカル・シンキング」「プレゼンテーション演習」「地域教養ゼミナールA」「地域教養ゼミナールB」「地域協働演習」
 ・ 「地域課題解決研究Ⅰ」「地域課題解決研究Ⅱ」は学科専任教員全員が後任を担うこととなり、教育上の支障はない。
 ・ 「健康スポーツ科学」「運動生理学」「運動生理学実験」「スポーツ医学」は飯島秀明専任教授が後任を担うこととなり、教育上の支障はない。
 ・ 「卒業論文Ⅰ」「卒業論文Ⅱ」は健康科学コースの専門科目を担当する専任教員全員が後任を担うこととなり、教育上の支障はない。
 ○ 藤井保専任教授は定年により、退職することが決定したため、専任教授一兼任講師へ変更。担当科目は以下のとおり対応する。
 ・ 「生命科学」「生体防御学」「免疫学実験」は兼任講師として引き続き担当する。
 ・ 「大学基礎セミナーⅠ」「大学基礎セミナーⅡ」「アカデミック・ライティング」「クリティカル・シンキング」「プレゼンテーション演習」「地域教養ゼミナールA」「地域教養ゼミナールB」「地域協働演習」
 ・ 「地域課題解決研究Ⅰ」「地域課題解決研究Ⅱ」は学科専任教員全員が後任を担うこととなり、教育上の支障はない。
 ・ 「卒業論文Ⅰ」「卒業論文Ⅱ」は健康科学コースの専門科目を担当する専任教員全員が後任を担うこととなり、教育上の支障はない。

【専任教員の新規採用による変更】
 ○ 新規採用の草薙邦広が令和3年4月に本学部の専任准教授として就任し、以下科目を担当する。
 「大学基礎セミナーⅠ」「大学基礎セミナーⅡ」「英語総合Ⅳ」「アカデミック・ライティング」「クリティカル・シンキング」「プレゼンテーション演習」「地域教養ゼミナールA」「地域教養ゼミナールB」「多文化共生入門Ⅰ」「多文化共生入門Ⅱ」「英語」「英語コミュニケーション」を新たに担当する科目として追加する。
 「地域課題解決研究Ⅰ」「上級英語総合(Critical ReadingⅡ)」
 ○ 新規採用の工藤卓吾が令和3年4月に本学部の専任准教授として就任し、以下科目を担当する。
 「大学基礎セミナーⅠ」「大学基礎セミナーⅡ」「アカデミック・ライティング」「クリティカル・シンキング」「プレゼンテーション演習」「地域教養ゼミナールA」「地域教養ゼミナールB」「多文化共生入門Ⅰ」「多文化共生入門Ⅱ」「中国語文化論」「中国語文化研究」「地域協働演習」「卒業論文(専門演習Ⅰ)」「卒業論文(専門演習Ⅱ)」「地域課題解決研究Ⅰ」「地域課題解決研究Ⅱ」「中級中国語表現」「上級中国語表現」
 ○ 新規採用の目黒晃哉が令和3年4月に本学部の専任准教授として就任し、以下科目を担当する。
 「文化継承入門Ⅰ」「大学基礎セミナーⅡ」「アカデミック・ライティング」「クリティカル・シンキング」「プレゼンテーション演習」「地域教養ゼミナールA」「地域教養ゼミナールB」「文化継承入門Ⅱ」「文化継承入門Ⅲ」「日本語論」「書誌学」「日本文化論演習」「地域協働演習」「卒業論文(専門演習Ⅰ)」「卒業論文(専門演習Ⅱ)」「地域課題解決研究Ⅰ」「地域課題解決研究Ⅱ」
 ○ 新規採用の鈴木麻希が令和3年4月に本学部の専任助教として就任し、以下科目を担当する。
 「大学基礎セミナーⅠ」「大学基礎セミナーⅡ」「アカデミック・ライティング」「クリティカル・シンキング」「プレゼンテーション演習」「地域教養ゼミナールA」「地域教養ゼミナールB」「地域協働演習」「学校栄養教育論Ⅰ」「学校栄養教育論Ⅱ」「教育実習指導(栄養教諭)」「教育実習(栄養教諭)」「教職実践演習(栄養教諭)」
 ○ 新規採用の古田歩が令和3年4月に本学部の専任助教として就任し、以下科目を担当する。
 「大学基礎セミナーⅠ」「大学基礎セミナーⅡ」「アカデミック・ライティング」「クリティカル・シンキング」「プレゼンテーション演習」「地域教養ゼミナールA」「地域教養ゼミナールB」「地域協働演習」
 ○ 西原貴之兼任講師の「英語」「英文化」「英語学」は新規採用の草薙邦広専任教授に担当者変更。
 ○ 岩井千秋兼任講師の「英語コミュニケーション」は新規採用の草薙邦広専任教授に担当者変更。
 ○ 杉山峰美兼任講師の「中国語文化論」「中国語文化研究」「中級中国語表現」「上級中国語表現」は新規採用の工藤卓吾専任教授に担当者変更。
 ○ 杉山寿美兼任講師の「学校栄養教育論Ⅰ」は新規採用の鈴木麻希専任助教に担当者変更。杉山寿美専任教授が引き続き連携サポートを行うための教育上の支障はない。
 ○ 辻文専任教授の「学校栄養教育論Ⅱ」は新規採用の鈴木麻希専任助教に担当者変更。辻文専任教授が引き続き連携サポートを行うための教育上の支障はない。

【兼任・兼任教員の退任に伴う担当の変更】
 ○ 柳川順二兼任教授の「社会調査論」は吉原俊朗兼任講師に担当者変更。教育上の支障はない。
 ○ 伊藤院雄雄兼任教授、金井秀孝兼任教授、西川洋行兼任教授の「生活に役立つ力学」は、山田憲嗣兼任講師に担当者変更。教育上の支障はない。
 ○ 黒住兼兼任講師の「英語総合Ⅰ」は天野みゆき専任教授、笠本晃代兼任講師、山中祐子兼任講師、ホーンソノ寿兼兼任講師に、
 ○ 黒住兼兼任講師の「英語総合Ⅱ」は天野みゆき専任教授、船津晶代兼任講師、西原貴之兼任講師、「英語総合Ⅳ」は草薙邦広専任教授、西原貴之兼任講師、ホーンソノ寿兼兼任講師に担当者変更。教育上の支障はない。
 ○ 藤井保兼任講師、岩井千秋兼任講師、渡多野三三兼任講師の「英語総合Ⅲ」は天野みゆき専任教授、船津晶代兼任講師、西原貴之兼任講師、「英語総合Ⅳ」は草薙邦広専任教授、西原貴之兼任講師、ホーンソノ寿兼兼任講師に担当者変更。教育上の支障はない。
 ○ ジェフリー・ノール兼任講師、D・モージャー兼任講師の「英語表現Ⅲ」はP.ポールドウィン兼任講師、ウルシュラ スティチェック兼任講師に、「英語表現Ⅳ」はP.ポールドウィン兼任講師、ウルシュラ スティチェック兼任講師に担当者変更。教育上の支障はない。
 ○ 津坂貴政兼任講師の「中国語Ⅰ」「中国語Ⅱ」は岡科目ともに上水流久産兼任教授、表兼兼任講師、徐文兼兼任講師へ担当者変更。教育上の支障はない。
 ○ 河合伸治兼任講師の「マクロ経済学」「パブリックファイナンス論」は新宅公志兼任講師に担当者変更。教育上の支障はない。
 ○ 杉山峰美兼任講師の「中級中国語総合」は新宅公志兼任講師に担当者変更。杉山峰美兼任講師が引き続き担当し、「ディベート・プレゼンテーション」は東原武士専任教授、飯嶋専任教授に、「中日対照言語学」は徐文兼任講師に、「中級中国語総合」は柳川順子専任教授に、「外国語検定(中国語Ⅰ)(認定)」「外国語検定(中国語Ⅱ)(認定)」「外国語検定(中国語Ⅲ)(認定)」は岡本弘道専任教授に担当者変更。教育上の支障はない。

【教育内容充実のための担当の見直しに伴う変更】
 ○ 天野みゆき専任教授の担当科目に「英語総合Ⅲ」を追加し、「海外研修」は吉本和弘専任教授と岡本弘道専任教授に担当者変更し、「大学基礎セミナーⅠ」「大学基礎セミナーⅡ」「アカデミック・ライティング」「クリティカル・シンキング」「プレゼンテーション演習」「地域教養ゼミナールA」「地域教養ゼミナールB」「地域協働演習」「卒業論文(専門演習Ⅰ)」「卒業論文(専門演習Ⅱ)」は学科専任教員全員が引き続き担当する。教育上の支障はない。
 ○ 天野みゆき兼任講師の担当科目に「英語総合Ⅲ」を追加し、「海外研修」は吉本和弘専任教授と岡本弘道専任教授に担当者変更し、「大学基礎セミナーⅠ」「大学基礎セミナーⅡ」「アカデミック・ライティング」「クリティカル・シンキング」「プレゼンテーション演習」「地域教養ゼミナールA」「地域教養ゼミナールB」「地域協働演習」「卒業論文(専門演習Ⅰ)」「地域課題解決研究Ⅰ」は学科専任教員全員が引き続き担当する。教育上の支障はない。
 ○ スティーブン・ルイス・ロゼン専任教授の担当科目に「上級英語表現(Global CommunicationⅠ)」を追加し、「英語表現Ⅲ」はP.ポールドウィン兼任講師、ウルシュラ スティチェック兼任講師に、「英語表現Ⅳ」はP.ポールドウィン兼任講師、ウルシュラ スティチェック兼任講師に、「上級英語表現(Global CommunicationⅡ)」は船津晶代兼任講師に担当者変更。教育上の支障はない。
 ○ 柳川順子専任教授の担当科目に「中級中国語総合」を追加する。
 ○ 吉本和弘専任教授の「英語総合Ⅲ」は天野みゆき専任教授、船津晶代兼任講師、西原貴之兼任講師に、「英語総合Ⅳ」は草薙邦広専任教授、西原貴之兼任講師、ホーンソノ寿兼兼任講師に、「上級英語総合(Seminar)」は東原武士専任教授に担当者変更。教育上の支障はない。
 ○ 市町村専任教授の「知的財産権関連講座」は安藤由典兼任教授に担当者変更。教育上の支障はない。
 ○ 山内貴専任教授の「ICTリテラシーⅠ」は重安哲也専任教授、陳春祥専任教授、岡部正幸専任教授、佐々木宣介専任教授、陳金輝専任教授に、「ICTリテラシーⅡ」は重安哲也専任教授、陳春祥専任教授、佐々木宣介専任教授、陳金輝専任教授に担当者変更。教育上の支障はない。
 ○ 杉山寿美兼任講師の「学校栄養教育論Ⅰ」は鈴木麻希専任助教、熊谷陽子兼任講師に担当者変更。教育上の支障はない。
 ○ 岡本弘道専任教授の担当科目に「海外研修」を追加し、「中級中国語総合」は柳川順子専任教授に、「中級中国語表現」は工藤卓吾専任教授に担当者変更。教育上の支障はない。
 ○ 東原武士専任教授の担当科目に「上級英語総合(Seminar)」を追加し、「海外研修」は吉本和弘専任教授、岡本弘道専任教授に、「上級英語総合(Critical ReadingⅡ)」は草薙邦広専任教授に、「上級英語表現(Global CommunicationⅠ)」はスティーブン・ルイス・ロゼン専任教授に担当者変更。教育上の支障はない。
 ○ 橋上敬専任教授は健康上の都合により負担を軽減するため、「税金会計論」は足立洋専任教授、加藤慶太兼任講師に、「経営学専門演習Ⅰ」「経営学専門演習Ⅱ」は経営コア・ユニットの専門科目を担当する専任教員全員に担当者変更。教育上の支障はない。
 ○ 岡部正幸専任教授の「ICTリテラシーⅠ」は、重安哲也専任教授、陳春祥専任教授、佐々木宣介専任教授、陳金輝専任教授、岡部正幸専任教授、陳春祥専任教授、佐々木宣介専任教授、陳金輝専任教授に担当者変更。教育上の支障はない。
 ○ 辻文専任教授の「学校栄養教育論Ⅱ」は、鈴木麻希専任助教、熊谷陽子兼任講師に担当者変更。教育上の支障はない。
 ○ 松本拓也専任教授の担当科目に「分析化学実験」を追加し、「健康科学情報処理演習」は飯島秀明専任教授に担当者変更。教育上の支障はない。
 ○ 馬淵良太兼任教授を追加し、担当科目に「食品衛生学」を追加する。
 ○ 上水流久産兼任教授の担当科目に「中国語Ⅰ」「中国語Ⅱ」を追加する。
 ○ 嶋田希香兼任講師を追加し、担当科目に「科学史」を追加する。
 ○ 五條小枝兼任講師の担当科目に「地域情報論」を追加する。
 ○ 笠本晃代兼任講師の担当科目に「英語総合Ⅰ」「英語総合Ⅱ」を追加し、「英語総合Ⅲ」は天野みゆき専任教授、船津晶代兼任講師、西原貴之兼任講師に、「英語総合Ⅳ」は草薙邦広専任教授、西原貴之兼任講師、ホーンソノ寿兼兼任講師に担当者変更。教育上の支障はない。
 ○ 金根五兼兼任講師を追加し、担当科目に「韓国語Ⅰ」「韓国語Ⅱ」を追加する。
 ○ 徐文兼兼任講師を追加し、担当科目に「中国語Ⅰ」「中国語Ⅱ」「中日対照言語学」を追加する。
 ○ 兎玉富美兼任講師の担当科目に「メディア・イングリッシュ」を追加し、「英語総合Ⅲ」は天野みゆき専任教授、船津晶代兼任講師、西原貴之兼任講師に、「英語総合Ⅳ」は草薙邦広専任教授、西原貴之兼任講師、ホーンソノ寿兼兼任講師に担当者変更。教育上の支障はない。
 ○ D・チャップマン兼任講師の「英語表現Ⅲ」はP.ポールドウィン兼任講師、ウルシュラ スティチェック兼任講師に、「英語表現Ⅳ」はP.ポールドウィン兼任講師、ウルシュラ スティチェック兼任講師、Kカゼミ兼任講師に担当者変更。教育上の支障はない。
 ○ 西原貴之兼任講師の担当科目に「英語総合Ⅲ」「英語総合Ⅳ」を追加する。
 ○ ODリー兼任講師の「英語表現Ⅲ」はP.ポールドウィン兼任講師、ウルシュラ スティチェック兼任講師に、「英語表現Ⅳ」はP.ポールドウィン兼任講師、ウルシュラ スティチェック兼任講師、Kカゼミ兼任講師に担当者変更。教育上の支障はない。
 ○ Kカゼミ兼任講師の「英語表現Ⅳ」は、P.ポールドウィン兼任講師、ウルシュラ スティチェック兼任講師に担当者変更。教育上の支障はない。
 ○ ホーンソノ寿兼兼任講師の担当科目に「英語総合Ⅰ」「英語総合Ⅱ」「英語総合Ⅳ」を追加する。
 ○ P.ポールドウィン兼任講師を追加し、担当科目に「英語表現Ⅲ」「英語表現Ⅳ」を追加する。
 ○ 山田憲嗣兼任講師を追加し、担当科目に「生活に役立つ力学」を追加する。
 ○ 中條和光兼任講師を追加し、担当科目に「生徒・進路指導論」を追加する。
 ○ 新宅公志兼任講師を追加し、担当科目に「マクロ経済学」「パブリックファイナンス論」を追加する。
 ○ 吉原俊朗兼任講師を追加し、担当科目に「社会調査論」を追加する。
 ○ 松本壽美兼任講師を追加し、担当科目に「調理科学実験」を追加する。
 ○ 眞次康弘兼任講師を追加し、担当科目に「臨床栄養教育論」を追加する。

【令和4年度】

（注）変更内容を簡潔書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

● **履修で設置された学部報の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会の専任教員審査(AO教員審査)を受けてください。**AO教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**

● 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。

● なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。

● 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

【令和5年度】

（注）変更内容を簡潔書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

● **履修で設置された学部報の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会の専任教員審査(AO教員審査)を受けてください。**AO教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**

● 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。

● なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。

● 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
地域文化コース：10 地域産業コース：14 健康科学コース：12 36名	地域文化コース：5 地域産業コース：7 健康科学コース：6 18名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
33	19	0	2	54	0	32	22	1	5	60	0
(34)	(19)	(0)	(5)	(58)	0						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
31	22	1	4	58	0	31	22	1	4	58	0
[Δ2]	[4]	[1]	[2]	[0]	[0]	[Δ2]	[4]	[1]	[2]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	2
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{58}{54} = 107.4$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{0}{60} = 0$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{0}{0} = \#DIV/0!$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	准教授	高松 亮太	R2.4.1	必修	大学基礎セミナーⅠ	①	R2.4 急遽他大学へ転出したため(2) 「日本文化論」「書誌学」「日本文化論研究」は目黒特史専任准教授を後任とした。 (3)						
				必修	大学基礎セミナーⅡ	①							
				必修	アカデミック・ライティング	①							
				選択	クリティカル・シンキング	①							
				選択	プレゼンテーション演習	①							
				選択	地域教養ゼミナールA	①							
				選択	地域教養ゼミナールB	①							
				必修	日本文化論	①							
				必修	書誌学	①							
				選択	日本文化論研究	①							
				選択	文化継承入門Ⅰ	①							
				選択	文化継承入門Ⅱ	①							
				選択	地域協働演習	①							
				選択	卒業論文(専門演習Ⅰ)	①							
選択	卒業論文(専門演習Ⅱ)	①											
選択	地域課題解決研究Ⅰ	①											
選択	地域課題解決研究Ⅱ	①											
2	助教	馬淵 良太	R2.2.1	必修	大学基礎セミナーⅠ	①	R2.2 他学部他学科(地域資源開発学科)へ 移籍のため就任辞退(2)						
				必修	大学基礎セミナーⅡ	①							
				必修	アカデミック・ライティング	①							
				選択	クリティカル・シンキング	①							
				選択	プレゼンテーション演習	①							
				選択	地域教養ゼミナールA	①							
				選択	地域教養ゼミナールB	①							
				選択	地域協働演習	①							
合計(D)				後任補充状況の集計(E)									
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)					
2	人	必修	7	科目	必修	7	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	18	科目	選択	18	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	25	科目	計	25	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任担当教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
		該当者なし											
合計(F)				後任補充状況の集計(G)									
辞任した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)					
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任担当教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(D) + (F)			後任補充状況の集計(E) + (G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
2 人	必修	7 科目	必修	7 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	18 科目	選択	18 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	25 科目	計	25 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{2}{54} = 3.7$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0

(注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	教授	船津 晶代	必修	英語総合Ⅱ	①	R3.3.31付け定年退職のため辞任(3) ※定年退職後兼任教員として引き続き担当する。			
			選択	英語総合Ⅲ※	②				
			選択	英語総合Ⅳ	①				
			選択	海外研修	①				
			必修	大学基礎セミナーⅠ	①				
			必修	大学基礎セミナーⅡ	①				
			必修	アカデミック・ライティング	①				
			選択	クリティカル・シンキング	①				
			選択	プレゼンテーション演習	①				
			選択	地域教養ゼミナールA	①				
			選択	地域教養ゼミナールB	①				
			選択	英語音声学※	②				
			選択	多文化共生入門Ⅰ	①				
			選択	多文化共生入門Ⅱ	①				
			選択	外国語検定(英語)Ⅰ(認定)	①				
選択	外国語検定(英語)Ⅱ(認定)	①							
選択	外国語検定(英語)Ⅲ(認定)	①							
2	教授	福場 良之	必修	大学基礎セミナーⅠ	①	R3.3.31付け定年退職のため辞任(3)			
			必修	大学基礎セミナーⅡ	①				
			必修	アカデミック・ライティング	①				
			選択	クリティカル・シンキング	①				
			選択	プレゼンテーション演習	①				
			選択	地域教養ゼミナールA	①				
			選択	地域教養ゼミナールB	①				
			必修	健康スポーツ科学	①				
			選択	運動生理学	①				
			選択	運動生理学実験	①				
			選択	スポーツ医学	①				
			選択	地域協働演習	①				
			選択	卒業論文Ⅰ	①				
			選択	卒業論文Ⅱ	①				
			選択	地域課題解決研究Ⅰ	①				
選択	地域課題解決研究Ⅱ	①							
3	教授	藤井 保	必修	大学基礎セミナーⅠ	①	R3.3.31付け定年退職のため辞任(3) ※定年退職後兼任教員として引き続き担当する。			
			必修	大学基礎セミナーⅡ	①				
			選択	アカデミック・ライティング	①				
			選択	クリティカル・シンキング	①				
			選択	プレゼンテーション演習	①				
			選択	地域教養ゼミナールA	①				
			選択	地域教養ゼミナールB	①				
			選択	生命科学※	②				
			選択	生体防御学※	②				
			選択	免疫学実験※	②				
			選択	地域協働演習	①				
			選択	卒業論文Ⅰ	①				
			選択	卒業論文Ⅱ	①				
			選択	地域課題解決研究Ⅰ	①				
			選択	地域課題解決研究Ⅱ	①				
合計				後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
3	人	必修	10 科目	必修	10 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	38 科目	選択	33 科目	選択	5 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	48 科目	計	43 科目	計	5 科目	計	0 科目

(注) ・ 定年により退職した全ての専任教員についてに記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任担当教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

R2.4に就任予定だった高松専任准教授は、急遽他大学へ着任・転出することとなった。学科専任教員全員で担当する科目については、授業内容、授業責任体制等は引き続き専任教員が担うため、教育上の支障はない。単独で担当予定だった科目については、急な転出であったため後任の担当教員は未定としている。教育課程の質が低下し、学生の学修に影響を与えることのないよう、後任の担当教員は専任教員とし、科目開講までに補充できるよう注力する。R2.4に就任予定だった馬淵良太専任助教は、R2.2に本学の地域資源開発学科へ異動した。学科専任教員全員で担当する科目については、授業内容、授業責任体制等は引き続き専任教員が担うため、教育上の支障はない。周知方法については、学生に対して、学内の情報ツール「県立広島大学ポータルサイト」を通じて科目担当者変更等の情報提供を行う。(2)
 定年退職を迎えた船津晶代専任教授の担当していた科目の後任は基本的に専任教員が担当することとしている。またそれ以外については、定年退職教員本人が兼任講師として引き続き担当することとしており、教育課程の質が低下し、学生の学修に影響を与えることはない。退職による担当科目のシラバス等の変更の必要はなく、履修登録前に学生便覧や情報ツール「県立広島大学ポータルサイト」を通じて科目担当者変更等の情報提供を行なったため、学生に対しての周知は問題なく行われた。(3)
 定年退職を迎えた福場良之専任教授の担当していた科目の後任は専任教員が担当することとしており、教育課程の質が低下し、学生の学修に影響を与えることはない。退職による担当科目のシラバス等の変更の必要はなく、履修登録前に学生便覧や情報ツール「県立広島大学ポータルサイト」を通じて科目担当者変更等の情報提供を行なったため、学生に対しての周知は問題なく行われた。(3)
 定年退職を迎えた藤井保専任教授の担当していた科目の後任は基本的に専任教員が担当することとしている。またそれ以外については、定年退職教員本人が兼任講師として引き続き担当することとしており、教育課程の質が低下し、学生の学修に影響を与えることはない。退職による担当科目のシラバス等の変更の必要はなく、履修登録前に学生便覧や情報ツール「県立広島大学ポータルサイト」を通じて科目担当者変更等の情報提供を行なったため、学生に対しての周知は問題なく行われた。(3)

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
認 可 時 (平成31年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和2年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和3年)			
設置計画履行状況 調 査 時 (平成4年)			
設置計画履行状況 調 査 時 (令和5年)			
設置計画履行状況 調 査 時 (令和6年)			

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<地域創生学部 地域創生学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>【新型コロナウイルス感染症拡大を受けた特例的な対応】</p> <p>【学事日程】 令和2年4月8日～前期授業開始 第1クォーター：6月10日まで 第2クォーター：6月11日～8月7日まで</p>	<p>【新型コロナウイルス感染症拡大を受けた特例的な対応】</p> <p>新型コロナウイルス感染症防止のため、4月5日付通知「県立広島大学活動基準に基づいた令和3年度前期授業等の留意事項について」等を踏まえ、令和3年度前期・前半の授業については、面接・遠隔（対面・オンライン）ハイブリッド授業又はオンライン・ハイブリッド授業の「ハイブリッド授業」を原則として実施することとし、学生の適切な学修時間を確保するよう工夫している。また基礎疾患等により登校できない（希望しない）学生に対して、授業のライブ配信や録画配信等により、学修の機会を確実に提供することとしている。 前期・後半以降の授業については、引き続き感染拡大の状況を踏まえて適切に対応を行う。</p> <p>【学事日程】 令和2年4月8日～前期授業開始 第1クォーター：6月9日まで 第2クォーター：6月10日～8月6日まで</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>平成19年の公立大学法人化時より、県立広島大学総合教育センターが教育改革の企画及び総括、教育制度の充実等の業務を所掌し、年に数回開催するFD研修会や、各学期終了時の授業評価アンケート等の実施による教育改善活動等の企画・実施を、中心となり担ってきた。</p> <p>令和2年4月から、学部等の再編に合わせて、総合教育センターを「大学教育実践センター」に改称し、戦略立案・企画機能をとって新たに設置した「高等教育推進機構」における決定事項を具現化するための実践機能組織として、これまでよりも高度かつ迅速に教育改革を推進する体制を整えた。</p> <p>県立広島大学大学教育実践センター管理運営規程に基づき設置される「教育推進部門」、「入試・高大接続委員会」、「学生支援部門」、「全学共通教育部門」「研修部門」において実施予定の各部門会議等では、高等教育の推進、教育に係る評価と改善、学生の教育・生活支援、全学共通教育の企画・実施、アクティブ・ラーナー育成に係る教職員研修の企画・実施に関すること等の教育改善を、高等教育推進機構における方針決定を踏まえて具現化する他、これまでに総合教育センターが担ってきたFD研修会や授業評価アンケートを引き続き実施している。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止措置により、委員会及び研修会は、ZoomやMicrosoft Teams等を利用しオンラインで実施するなどし、教育改善方法の検討に努め、引き続き、国や県の感染拡大防止に係る対策方針等を踏まえながら対応している。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>高等教育推進機構運営委員会は、11回開催した。大学教育実践センター運営委員会は、5月1日、3月23日の2回開催し、教育推進部門会議を11月9日、2月4日、3月26日の3回、研修部門会議を6月19日、7月31日、12月14日の3回開催した。（いずれも令和2年度の開催状況）</p>
--

c 委員会の審議事項等

委員会の審議事項は以下のとおり。

①高等教育推進機構運営委員会（規程第2条）

- (1) 教育改革に係る方針策定
- (2) アドミッション戦略に係る方針策定
- (3) 教学IRの推進に係る重要事項に関する事項
- (4) その他学長が必要と認める事項

②県立広島大学教育実践センター運営委員会（要領第2条）

- (1) センターの管理運営に関する事項
- (2) センターの基本方針及び事業計画に関する事項
- (3) センターに関するその他の重要事項

③教育推進部門（要領第2条）

- (1) 高等教育の推進に関すること。
- (2) 教育に係る評価と改善に関すること。

④研修部門（要領第2条）

- (1) アクティブ・ラーナー育成に係る教職員研修の企画に関すること。
- (2) アクティブ・ラーナー育成に係る教職員研修の実施に関すること。

② 実施状況

a 実施内容

- ・オンライン授業導入に係る教職員のスキル修得及びリラクゼーション研修
 - ・ハイブリッド授業構築に向けての効果的な教授法の修得方法
 - ・ファシリテーション（会議）研修
 - ・「教・職・学」協働による教育改革ミーティング研修
 - ・「適切なシラバス作成に向けて」研修

b 実施方法

- ・Microsoft Teams等を利用しオンラインで実施

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・教職員参加者合計延べ603名（動画視聴者は含まず。）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・受講後アンケートをオンラインで実施し、出された意見を踏まえ随時改善している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・授業評価アンケートは、非常勤講師を含む全科目を対象に、クォーター一期ごとに実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

集計後、個別の授業評価アンケートを個々の教員にフィードバックする他、学科単位（令和3年度からはコース単位を含む）において、全体集計結果を所属長にフィードバックしている。また、授業評価アンケート結果に対する教員の振り返りコメントをまとめた冊子を作成し、教員に一部ずつ配布している他、学生ラウンジ等に配架し、学生が閲覧できるようにしている。集計結果の概要については、本学公式ホームページ上にもPDFにて公開している。今後も引き続き教員及び学生へのフィードバックを適切に行っていく予定である。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

地域創生学部地域創生学科では、自らが働き、暮らし、活動する身近な地域の問題、あるいは日本や世界の各地で起こっている出来事に対する想いや疑問をもとに、地域社会の実態や課題の本質を浮き彫りにし、地域創生のために必要な3つのコース（地域文化・地域産業・健康科学）についての専門知識・技能（専門性）と幅広い教養を身につけ、様々な個人や組織の連携・協力（協働性）をもって、それらを解決するための道筋を見出し、解決に向けて挑戦できる実践力を持った、地域社会の持続的な発展に主体的に貢献できる「課題探究型地域創生人材」の育成を目的としている。

地域創生学部では設置初年度において、グローバル化や科学技術の進展など社会の激しい変化に対応し得る統合された知の基盤となる教養を提供し、学位授与方針に記した「グローバルな視点・立場から、地域社会の持続的な発展に貢献できる人材を育成する」ための学修成果の達成に必要な、大学での「学びの基礎基盤」となる力を身につけるため、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」を伴った「幅広い教養」と、総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するよう適切に科目「全学共通教育科目」と、地域創生に必要な地域文化、地域産業、健康科学に関する専門的知識・技能を、体系的・実践的に学修する専門教育科目として、3コースの専門性を学ぶ上で基礎となる科目「学部学科共通科目」を全コースの領域を横断して履修できるよう設定し、幅広く配置している。

授業科目は、集中的な授業の実施によって教育効果を向上させることを目的とした四学期制で行い、前期を「前期前半（第1学期）」と「前期後半（第2学期）」、後期を「後期前半（第3学期）」と「後期後半（第4学期）」に分け、一部、二学期制で行う授業と平行した弾力的な時間割運用を実施することとしている。

オリエンテーションは、新型コロナウイルス感染症の対策を前提として令和3年度前期・前半の授業については、面接・遠隔（対面・オンライン）ハイブリッド授業又はオンライン・ハイブリッド授業の「ハイブリッド授業」を原則として実施することとし、学生に対する教育の支障がないよう、シラバスを再検討した上で、カリキュラムマップ等の説明を行うとともに、学科単位でそれぞれの履修モデル等に基づいた履修指導を実施した。

学生の受け入れ状況に関しては、地域創生学科地域文化コース・地域産業コースの一部（一般選抜後期日程）に対して経過選択制を導入し、入学者数は32名であった。初年次は、地域文化、地域産業、健康科学に関する基礎的知識や研究内容などを学ぶこととし、自身の将来像を想像して熟考した上で、2年次後半から地域文化コースと地域産業コースのいずれかのコースを選択することとなる。

管理運営体制は令和2年度より、戦略・企画機能と実施機能とに分離し、各機能の高度化・迅速化を図ることを目的に、総合教育センターを改組し「高等教育推進機構」を新たに設置、総合教育センターを「大学教育実践センター」とすることで教育改革推進体制の強化にあたっている。

以上のように、学生に対して支障のないよう対応しており、設置計画に基づき、設置の趣旨・目的が実現できるよう全学を挙げて、着実に取り組みを進めているところである。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・本学では、中期目標期間に合わせて6年周期として認証評価を受けることとしており、前回の認証評価時期である平成29年度の6月末に、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構に対して「大学機関別認証評価自己評価書」及び「選択評価事項にかかる自己評価書」を提出し、「大学機関別評価評価報告書」及び「認定証」と併せて本学ホームページに同内容を掲載した。

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、教職員及び学外委員に各一部ずつ配付。
- ・大学ホームページ上に公開済 <https://www.pu-hiroshima.ac.jp/soshiki/47/ninshou.html>

③ 認証評価を受ける計画

- ・令和5年度に評価機関（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構もしくは公立大学改革支援・評価研究センター）の評価を受けるべく、学内で検討中

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。